

2019年3月期第2四半期決算 説明会資料 本編

代表取締役社長 最高経営責任者
石田 建昭

2018年11月29日

目次

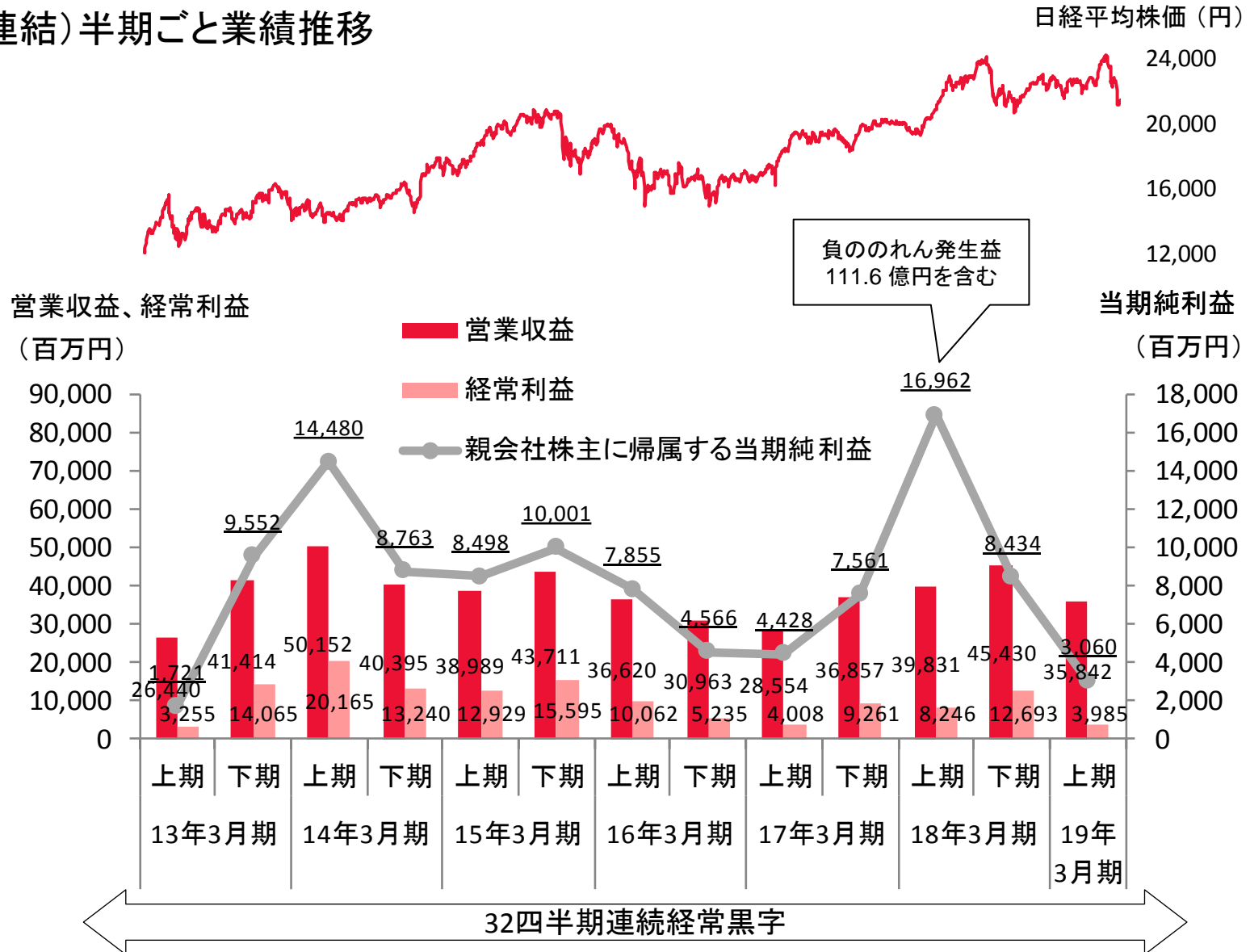
I. 業績概要	2
II. プラットフォーム事業の進捗	21
III. 資本政策	25
IV. 経営計画 「New Age's, Flag Bearer 5 ～新時代の旗手～」の推進	29

1. 業績概要

I. 業績概要

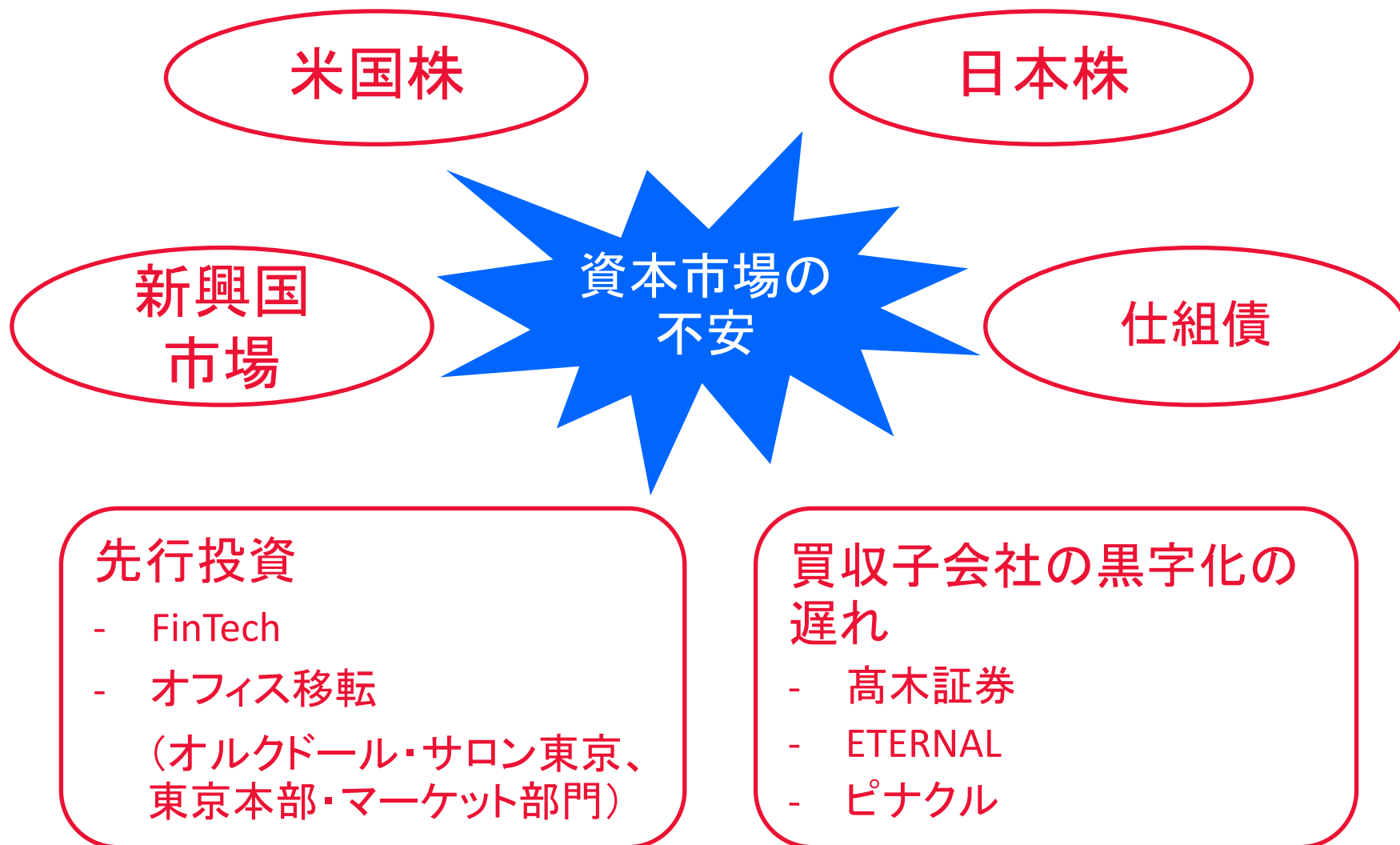
業績推移

■ (連結) 半期ごと業績推移



I. 業績概要

2019年3月期上期のマイナス要因



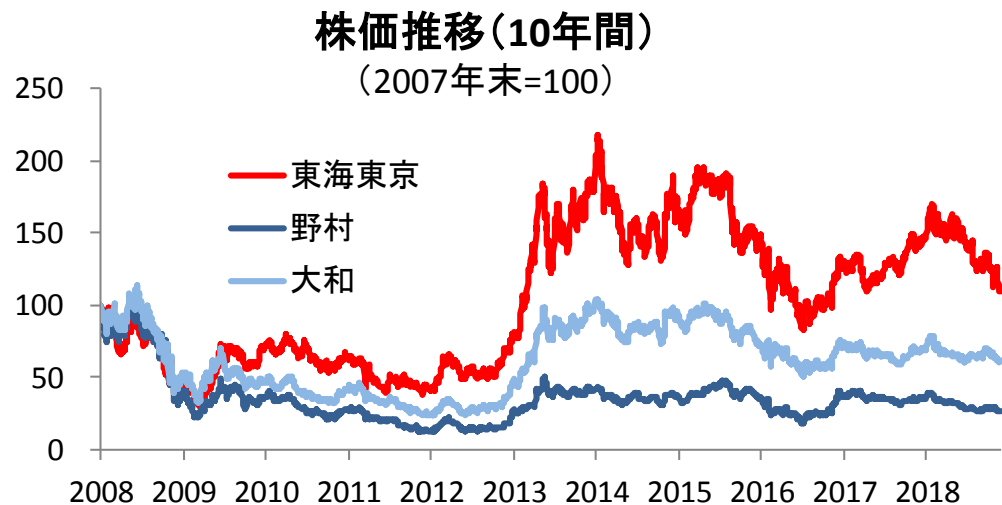
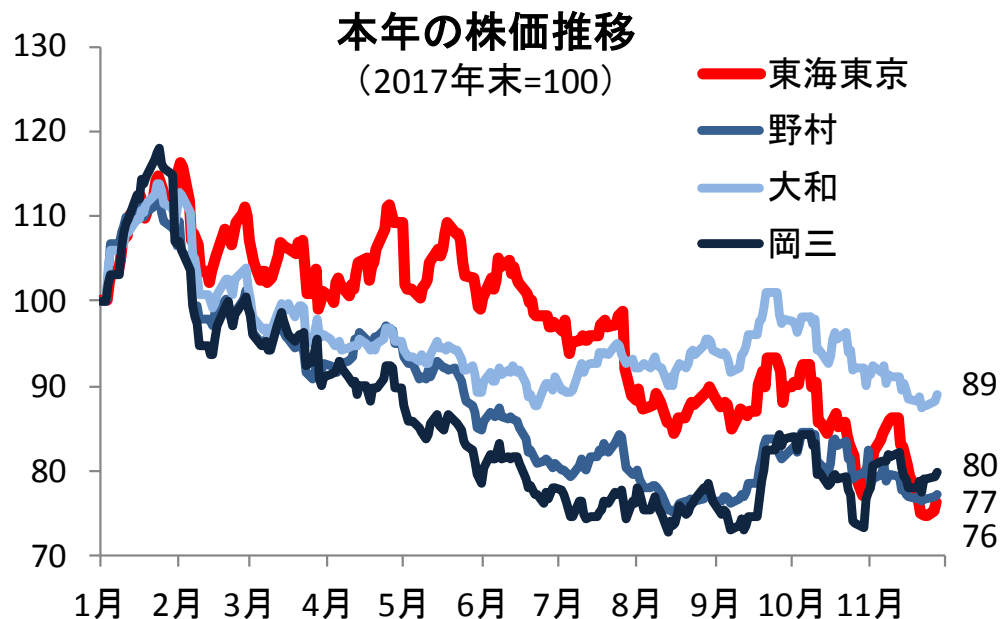
I. 業績概要

プロジェクト・レビュー

	開始時期	これまでの経過	2019年3月期
高木証券	関西地域の事業基盤強化のため、2017年4月に連結子会社化	特別利益として、負ののれん発生益111.6億円計上。損益改善のため、構造改革およびコスト削減を実施。	上期で338百万円の経常損失。来年度黒字化に向けて、下期は抜本的構造改革を推進。
ETERNAL	保険ビジネスを拡大するため、2017年3月に連結子会社化	MONEQUEとの協働によるシナジーを追求	下期に黒字化見込み
ピナクル	M&Aビジネスを拡大するために、2017年9月に連結子会社化	地方銀行向けの事業承継サービスを計画。	下期に黒字化見込み
お金のデザイン	2018年6月に出資(当時出資比率20%)	取締役1名を派遣。地方銀行との業務提携を計画。	2Q(3ヶ月)に149百万円の持分法投資損失(うちのれん償却60百万円)。協働の可能性を追求。
本社移転	マーケット部門強化とオルクドール・サロン東京開設のため、2019年1月にオフィス移転	トレーディング・システム更新。東京で富裕層向けの新サロン開設。	2018年7月より、約1億円/月の賃料発生。

I. 業績概要

証券業界の株価動向



(ご参考)PBRの他社比較

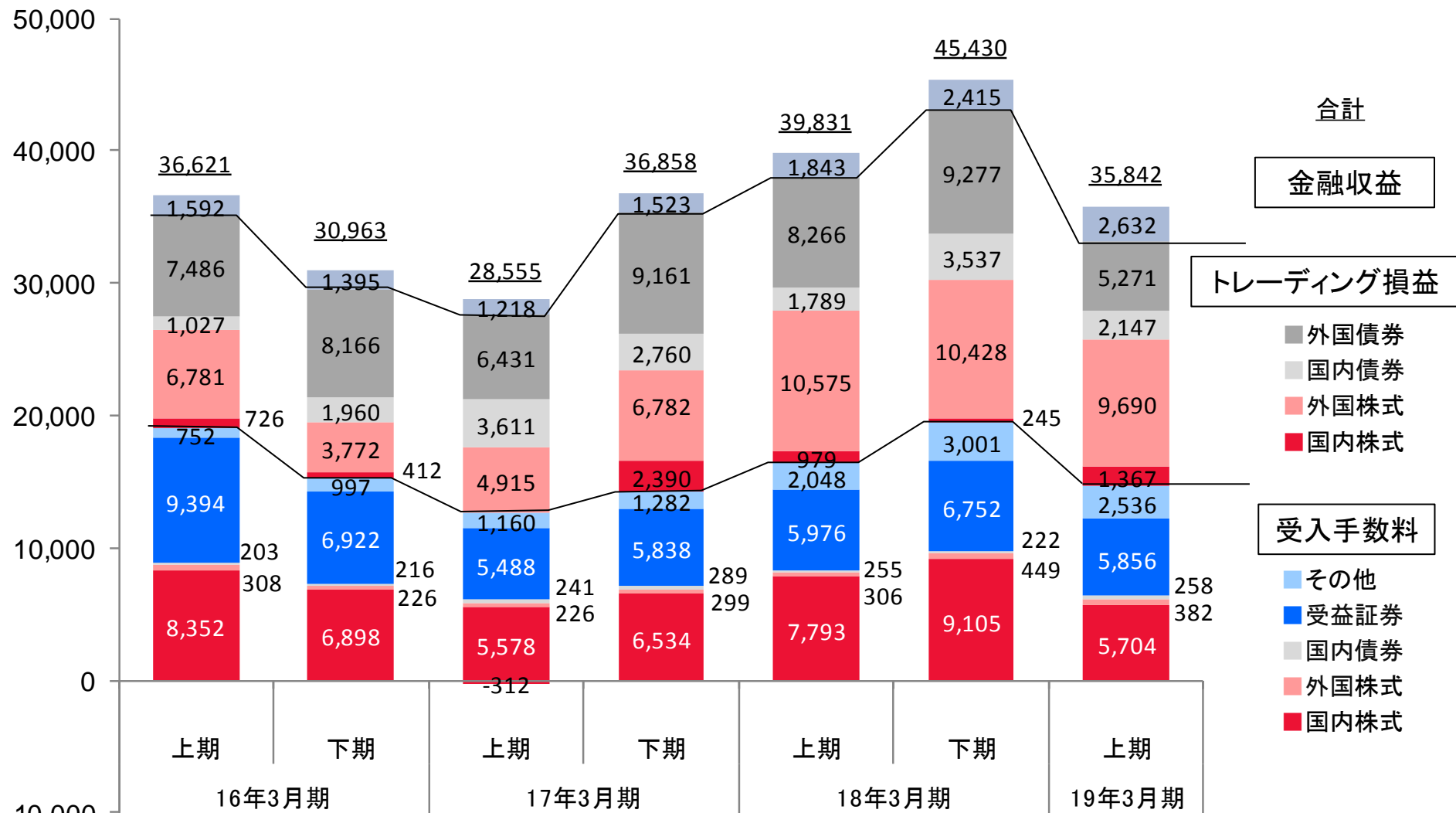
社名	PBR(倍)	
	2017/12/29	2018/11/27
東海東京	1.11	0.85
野村	0.80	0.62
大和	0.90	0.78
岡三	0.88	0.72

出所: Bloomberg

I. 業績概要

(連結) 営業収益 商品別内訳

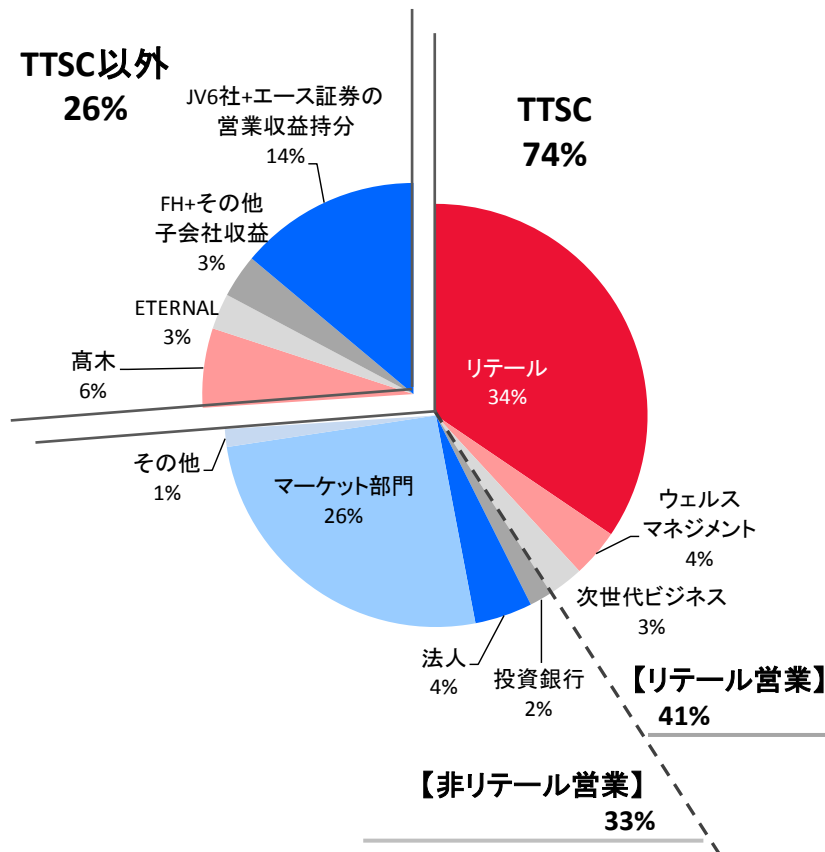
(百万円)



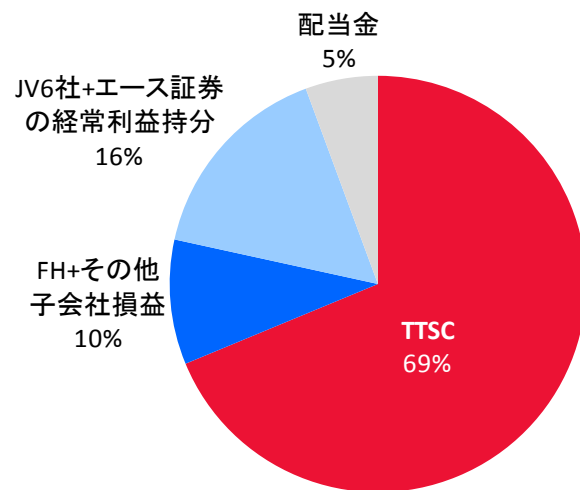
I. 業績概要

ビジネスの特徴と財務状況

比例合算による営業収益イメージ



比例合算による経常利益イメージ



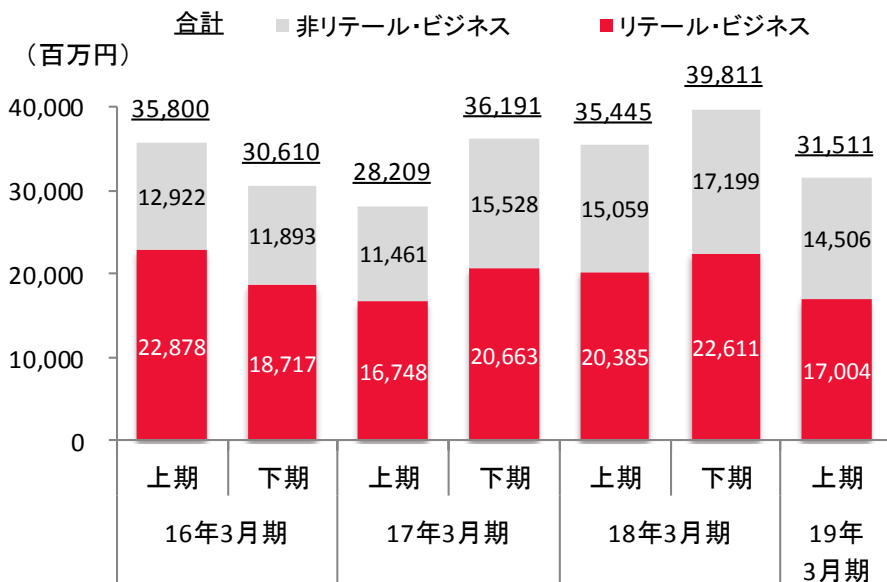
※ 高木証券、ETERNALは経常損失のため上記比率に含めず

※ 持分法適用会社(提携合弁証券およびエース証券)の収益を持分比率により合算することで、2019年3月期上期における当社グループ損益の源泉のイメージを提示するものであり、企業会計上の連結損益計算書とは異なります。

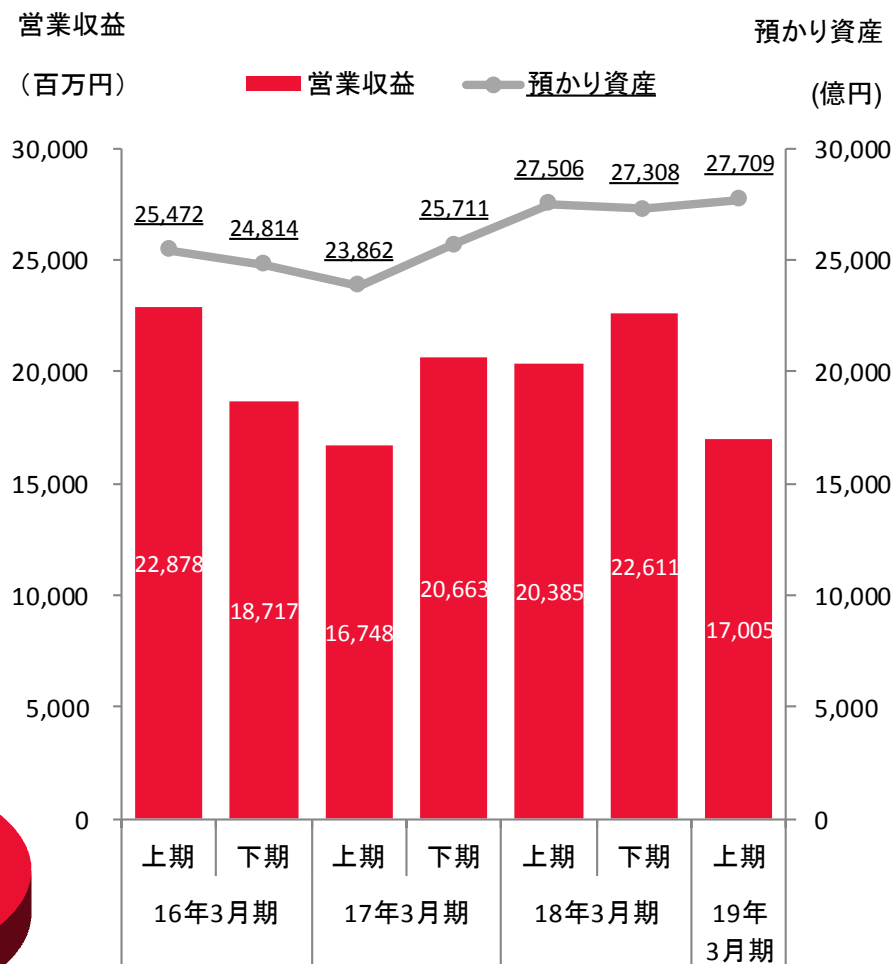
I. 業績概要

(東海東京証券)リテール・ビジネスの業績推移

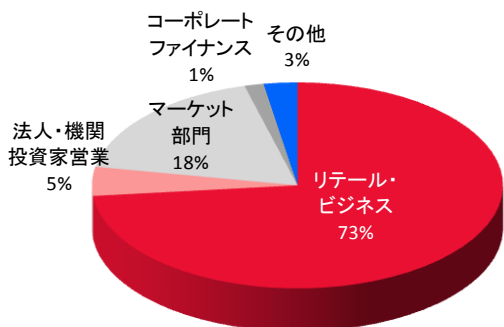
セグメント別収益内訳



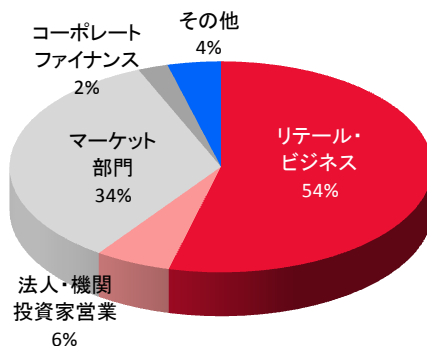
リテール・ビジネス全体



2013年3月期



2019年3月期上期

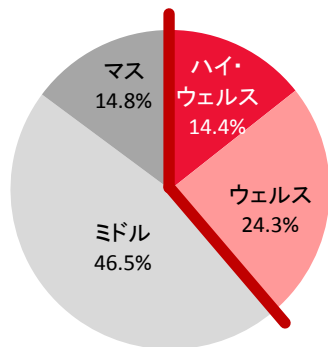


*リテールは富裕層含む

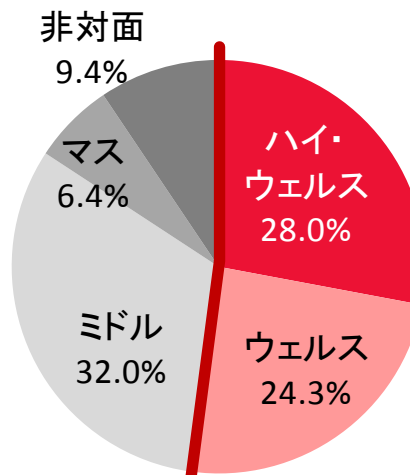
I. 業績概要

(東海東京証券)リテール／富裕層ビジネス

リテール部門の預かり資産における富裕層比率

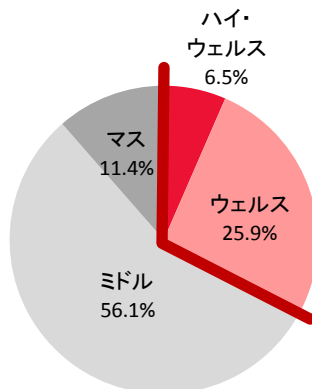


2013年3月末

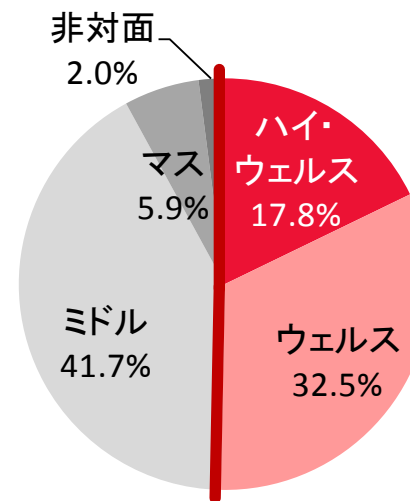


2018年9月末

リテール部門の収益における富裕層比率



2013年3月期



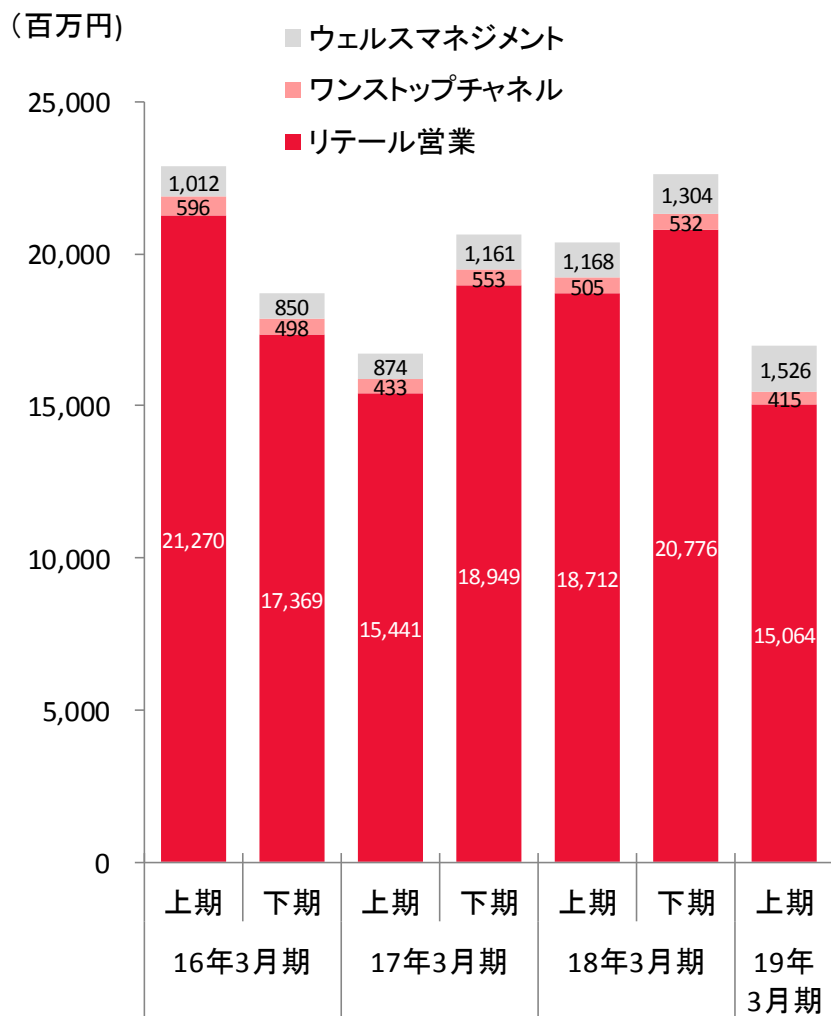
2019年3月期上期

ハイ・ウェルス : 預かり資産1億円以上
ウェルス : 3,000万円以上1億円未満
ミドル : 500万円以上3,000万円未満
マス : 500万円未満

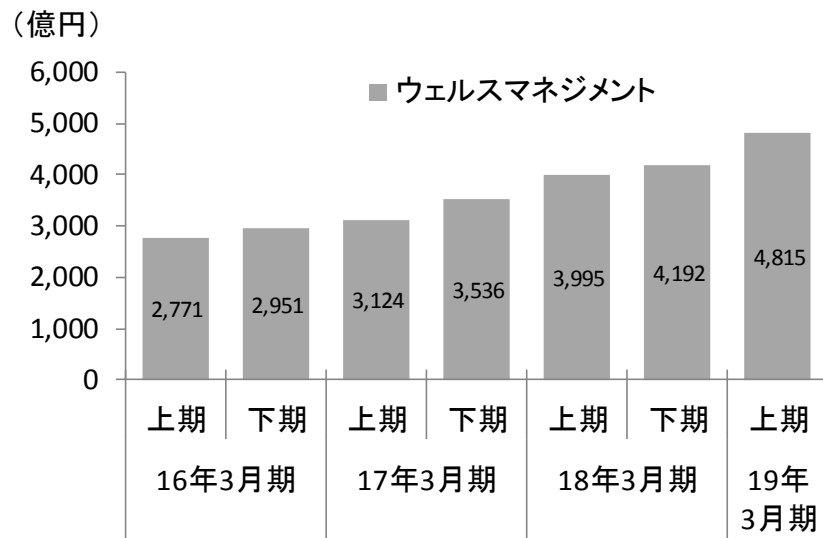
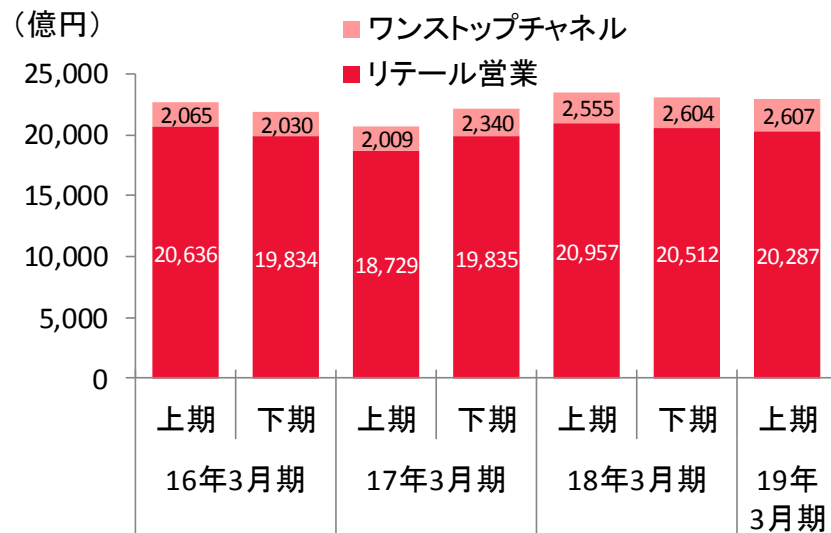
I. 業績概要

(東海東京証券)リテール／富裕層ビジネス

ビジネス・セグメント別収益



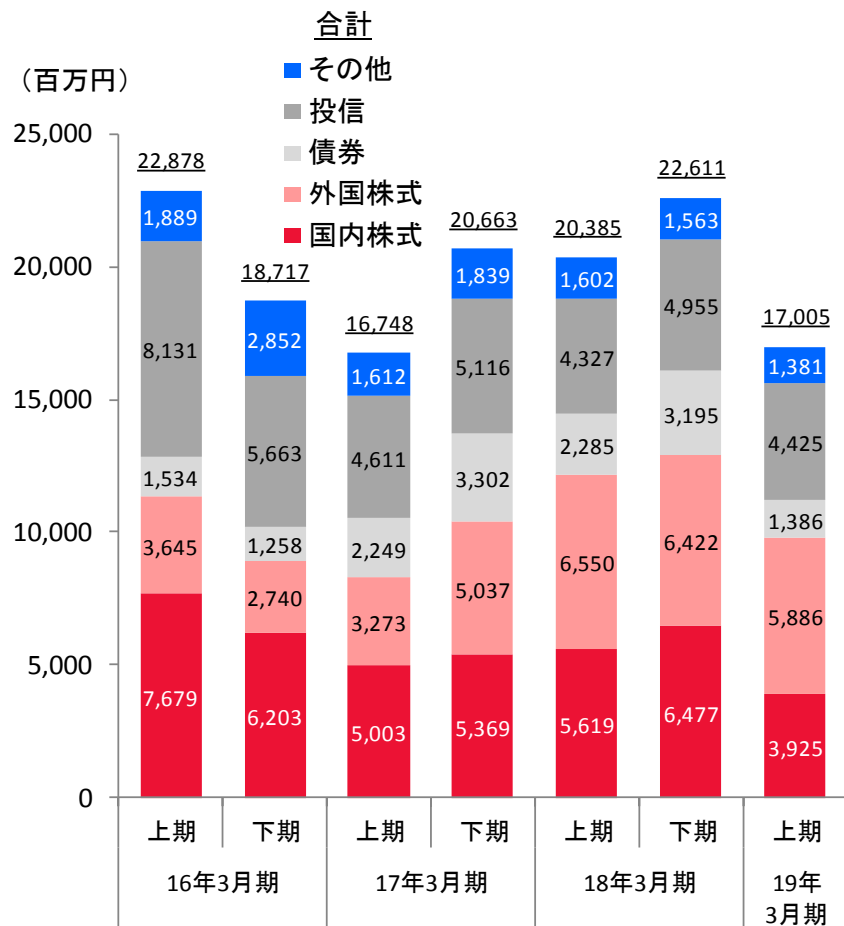
ビジネス・セグメント別預かり資産



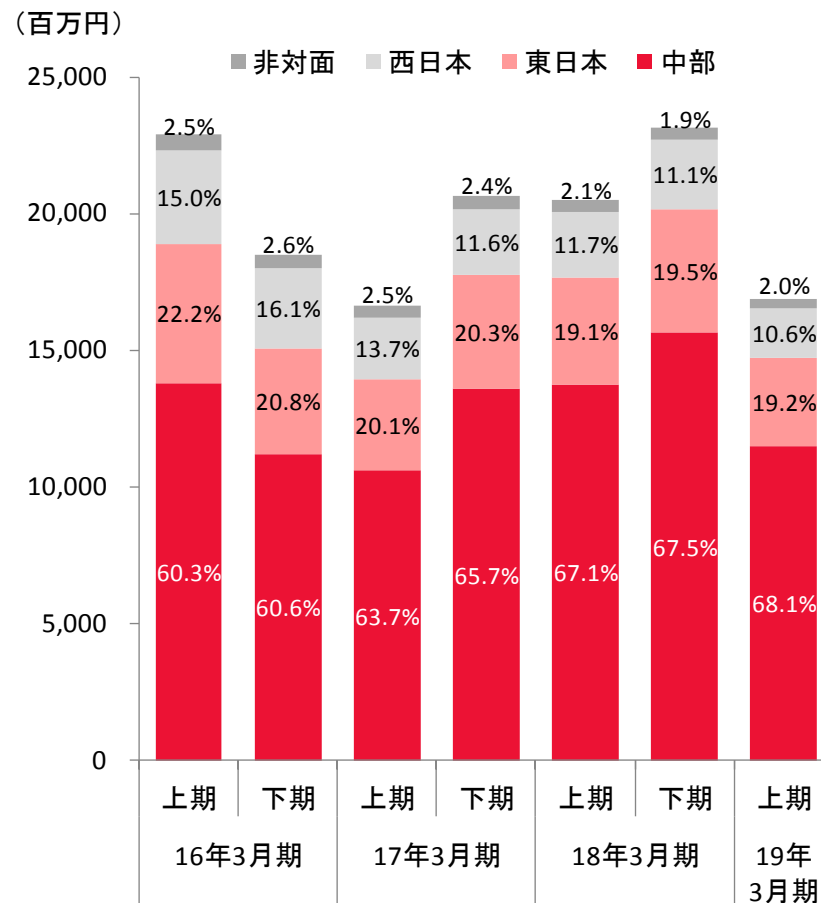
I. 業績概要

(東海東京証券)リテール・ビジネス 収益内訳

商品別収益



地域別収益

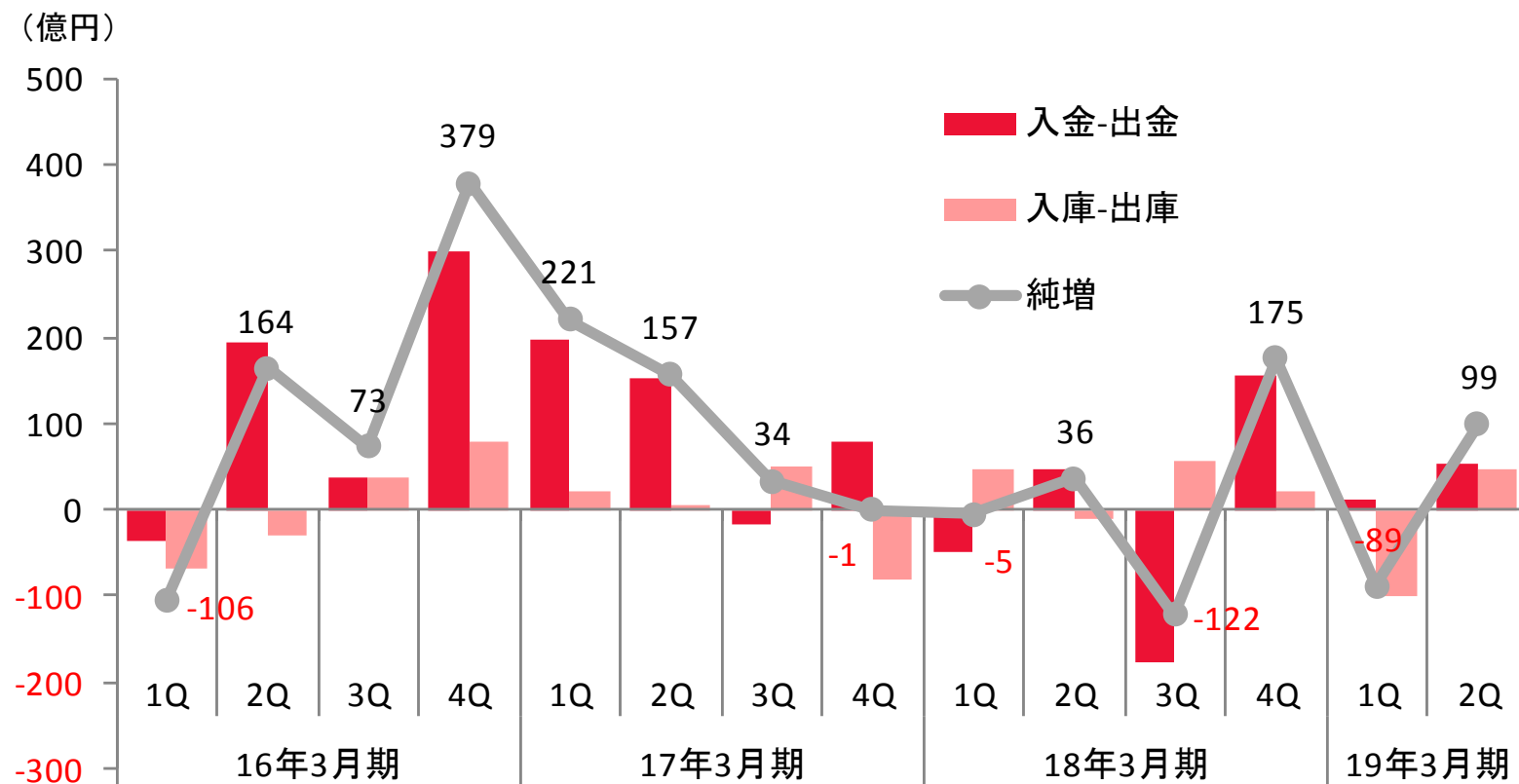


※ 顧客に付随しない収益は除く

※ リテールは富裕層含む

I. 業績概要

(東海東京証券)リテール・ビジネス 資産導入状況

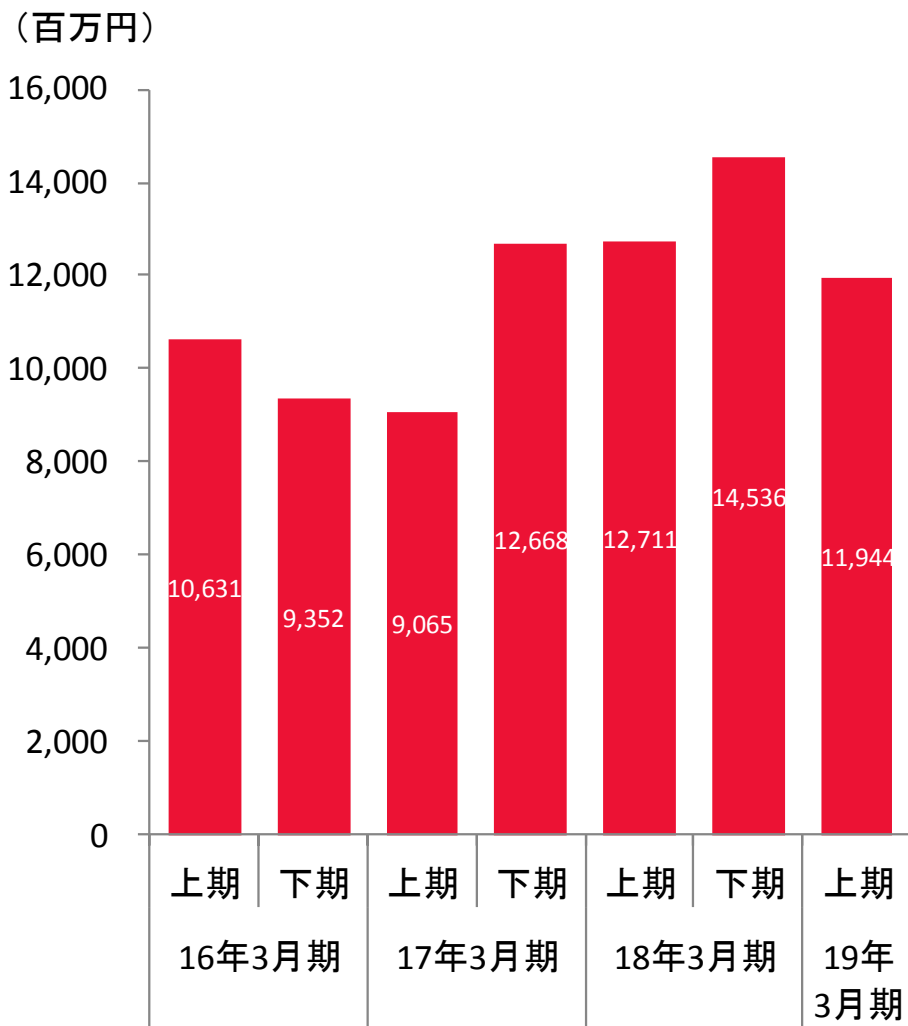


※ リテールは富裕層含む

I. 業績概要

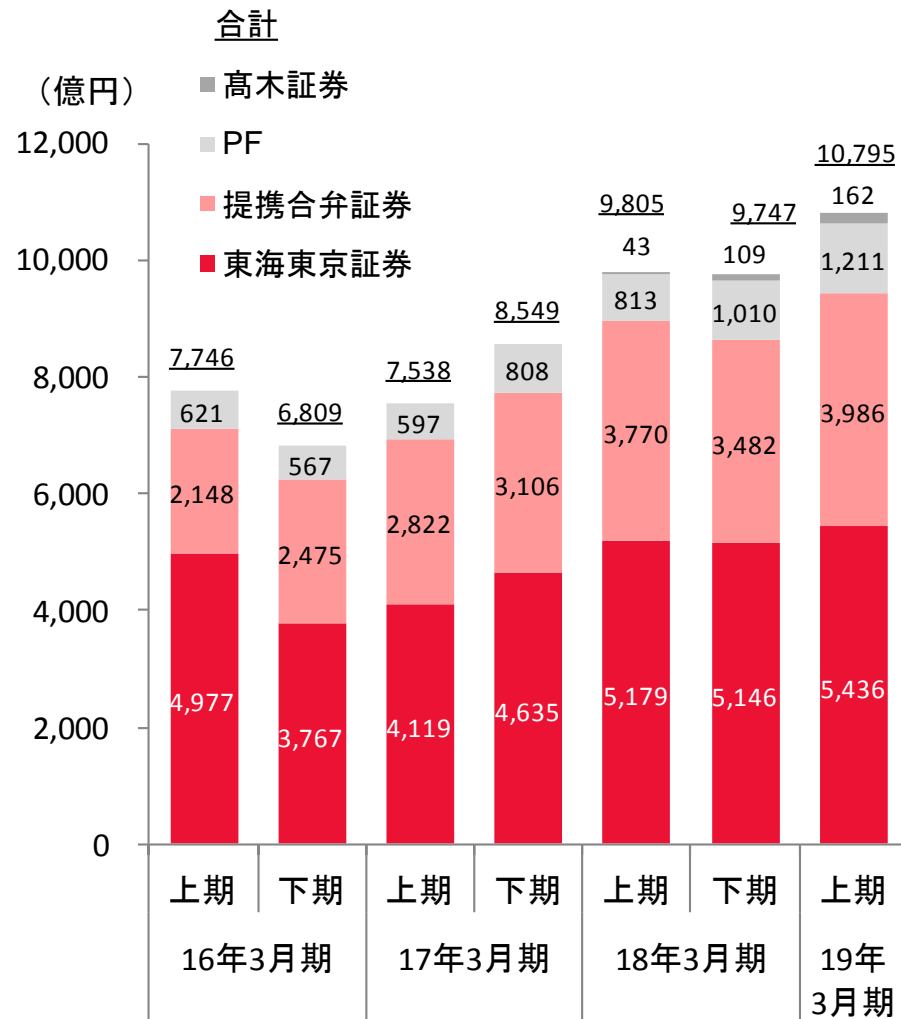
(東海東京証券)マーケット部門 業績推移

営業収益



保護預かり資産

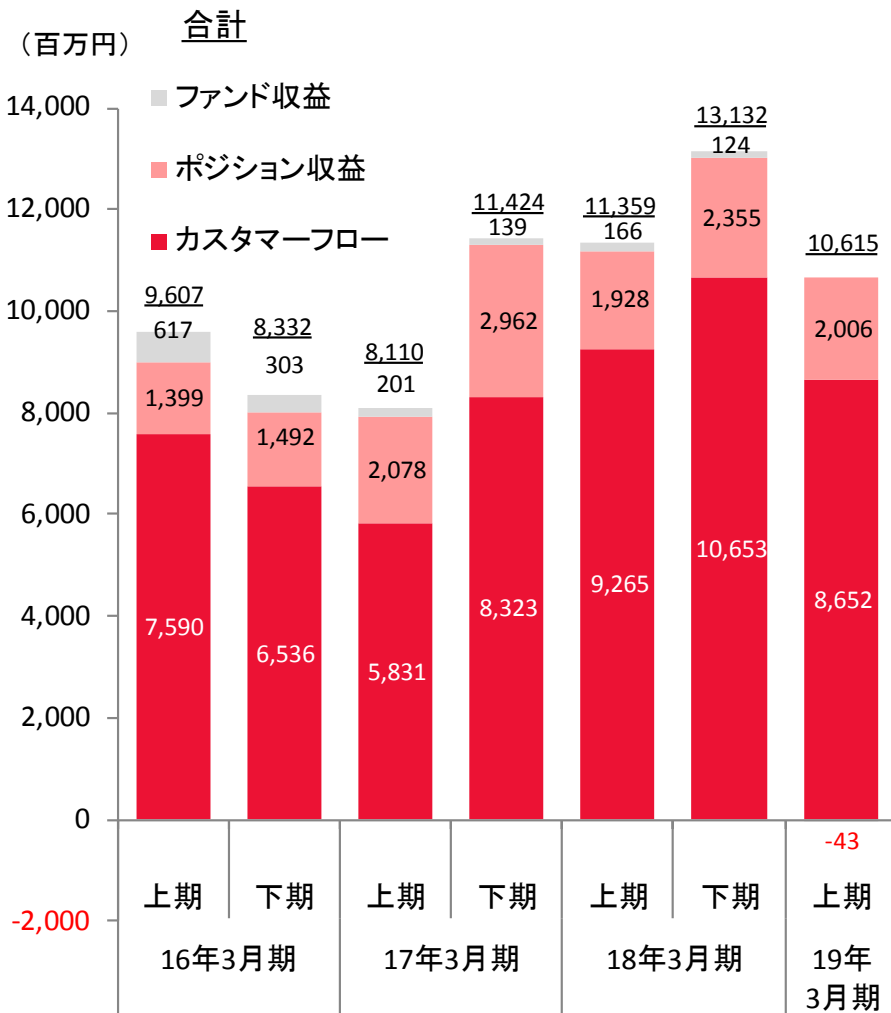
(外国債、外国株)



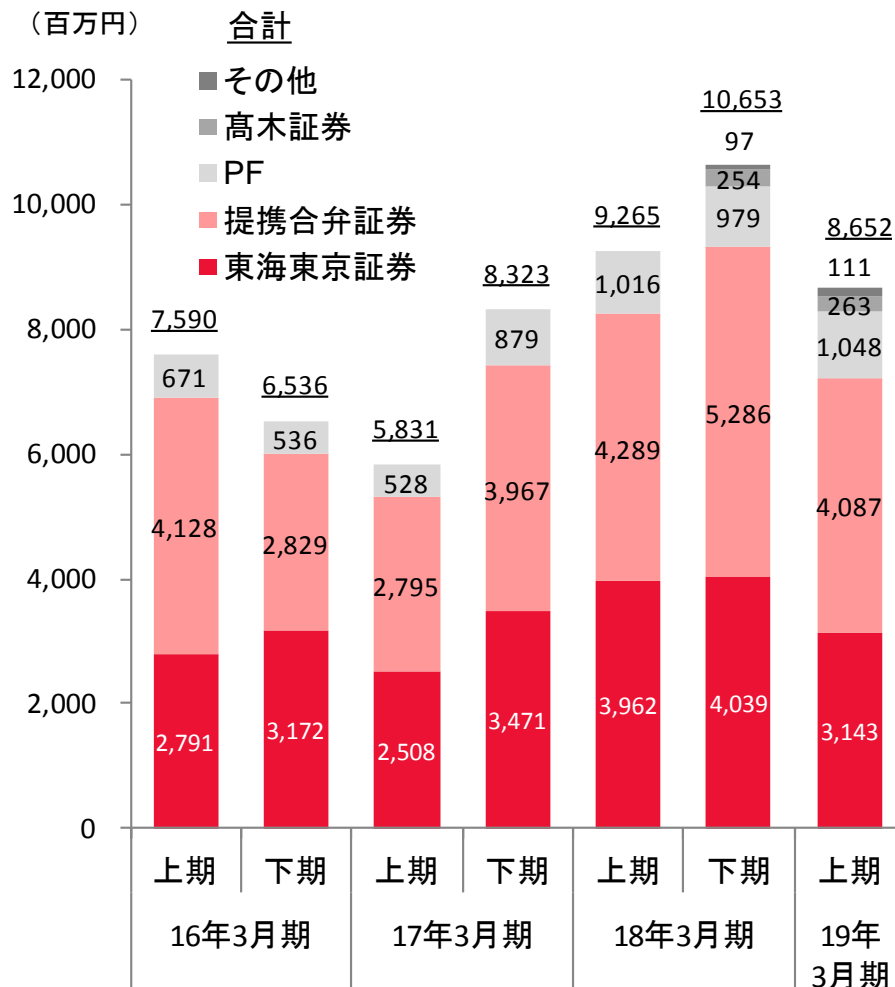
I. 業績概要

(東海東京証券)マーケット部門 収益内訳

カテゴリー別収益



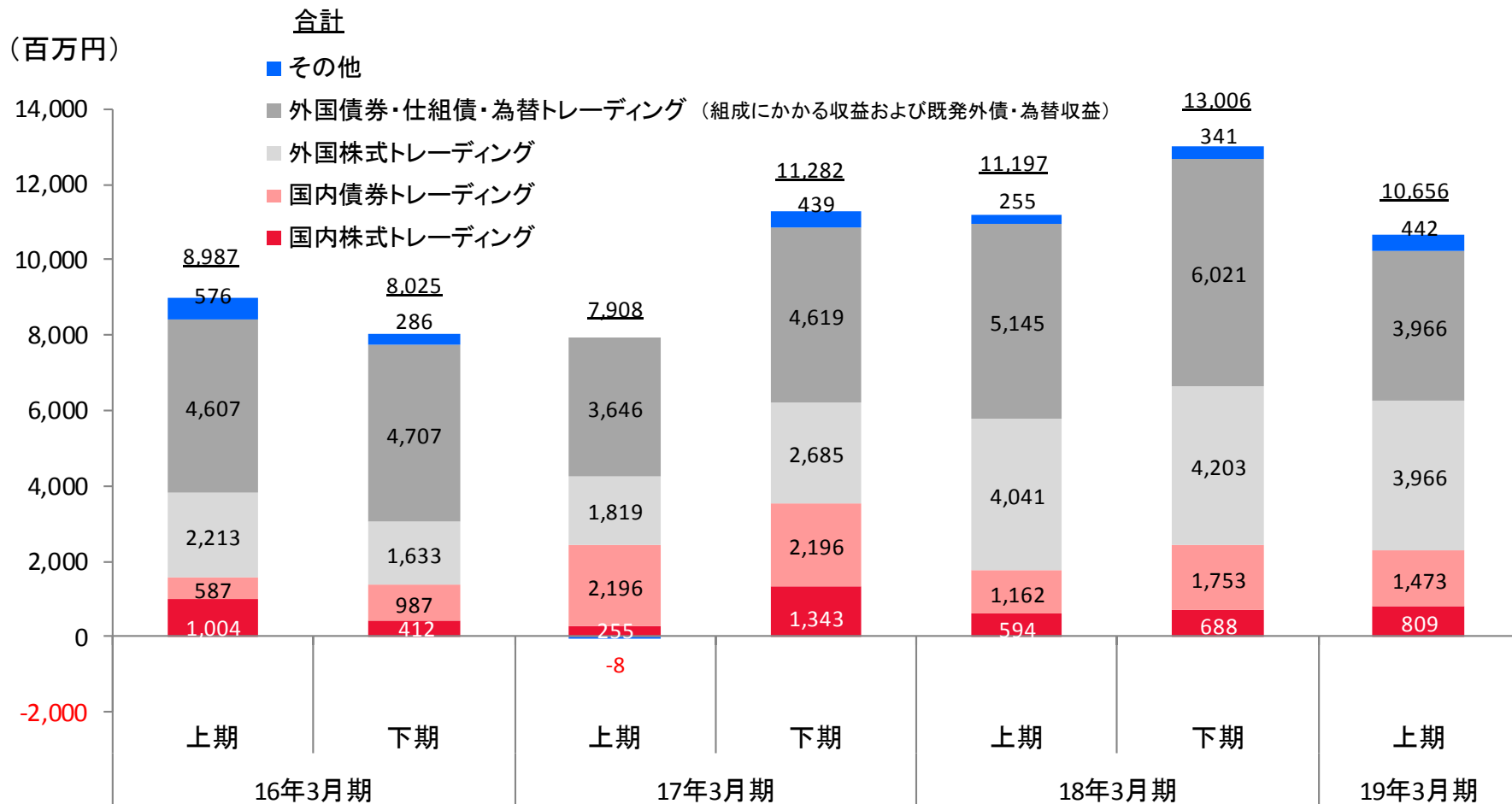
顧客別フロー収益



※管理会計上の調整金額を除いたフロー別の内訳

I. 業績概要

(東海東京証券)マーケット部門 商品別収益内訳



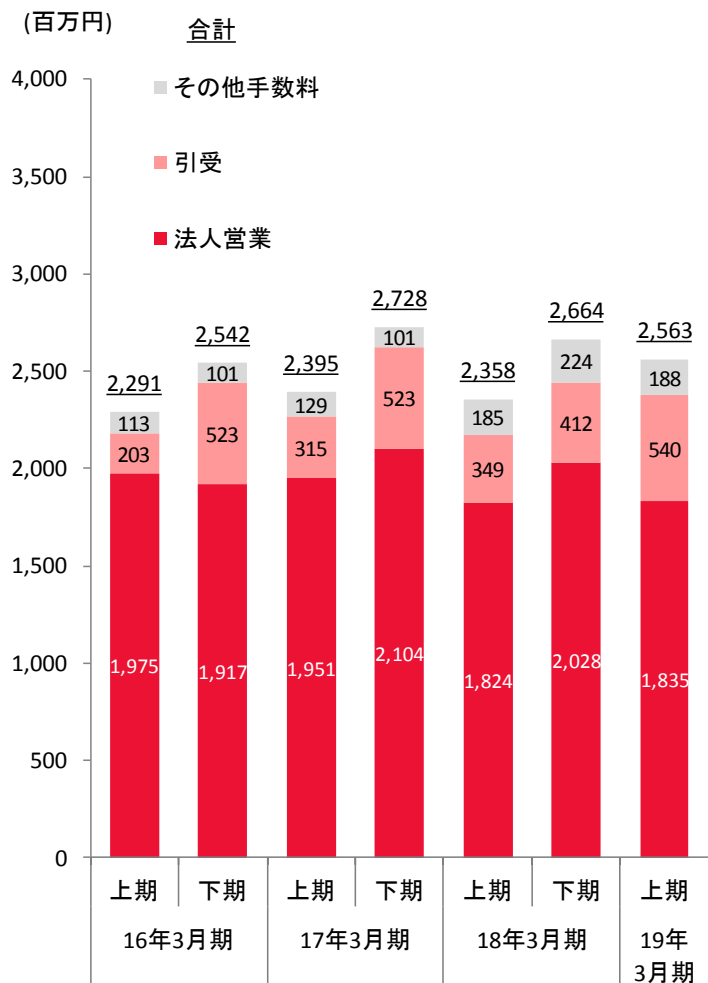
※ 東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

※ 管理会計上分類できない数値を「その他」として計上

I. 業績概要

(東海東京証券) 法人部門・投資銀行部門 業績推移

法人／投資銀行 収益



売出債 アレンジ件数ランキング (世界銀行、IFC、IDB、ADB等)

2018年1月～9月			
ランク	社名	USD百万	件数
1	東海東京	1,312	148
2	岡三	984	114
3	三菱UFJMS	5,641	88
4	SBI	578	80
5	野村	3,013	45
6	大和	892	37
7	中銀	263	34
8	みずほ	1,772	33
9	SMBC日興	2,121	29
10	あおぞら	253	24

債券総合 引受金額ランキング

2018年4月～9月			
ランク	社名	百万円	件数
1	みずほ	2,086,701	347
2	野村	1,826,352	353
3	SMBC日興	1,642,756	343
4	大和	1,623,921	339
5	三菱UFJMS	1,279,031	253
6	東海東京	140,620	78
7	しんきん	109,900	54
8	ゴールドマン	75,700	32
9	岡三	55,600	70
10	SBI	50,000	16

IPO 引受金額ランキング

2018年4月～9月			
ランク	社名	百万円	件数
1	野村	78,752	15
2	大和	39,131	14
3	三菱UFJMS	30,888	9
4	みずほ	30,183	34
5	SMBC日興	20,931	32
6	SBI	12,035	43
7	東海東京	2,562	12
8	岡三	1,014	18
9	マネックス	630	19
10	いちよし	467	17

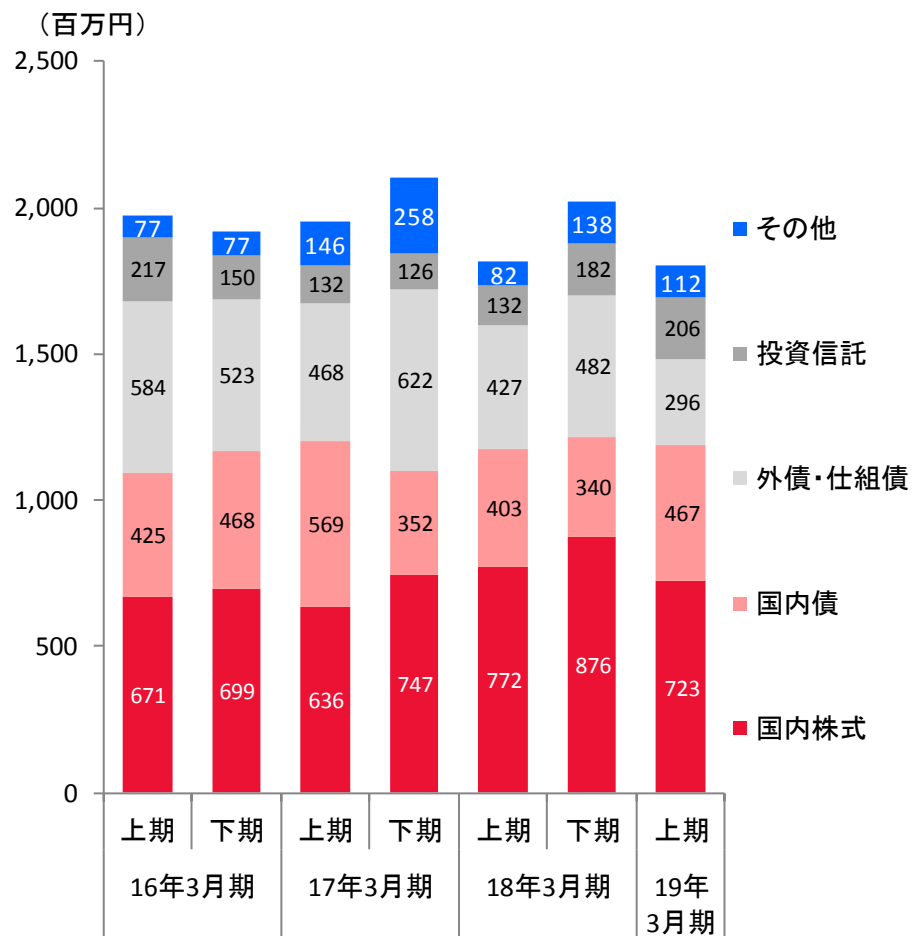
出所: Bloomberg, Thomson Reuters, キャピタルアイ

東海東京フィナンシャル・ホールディングス

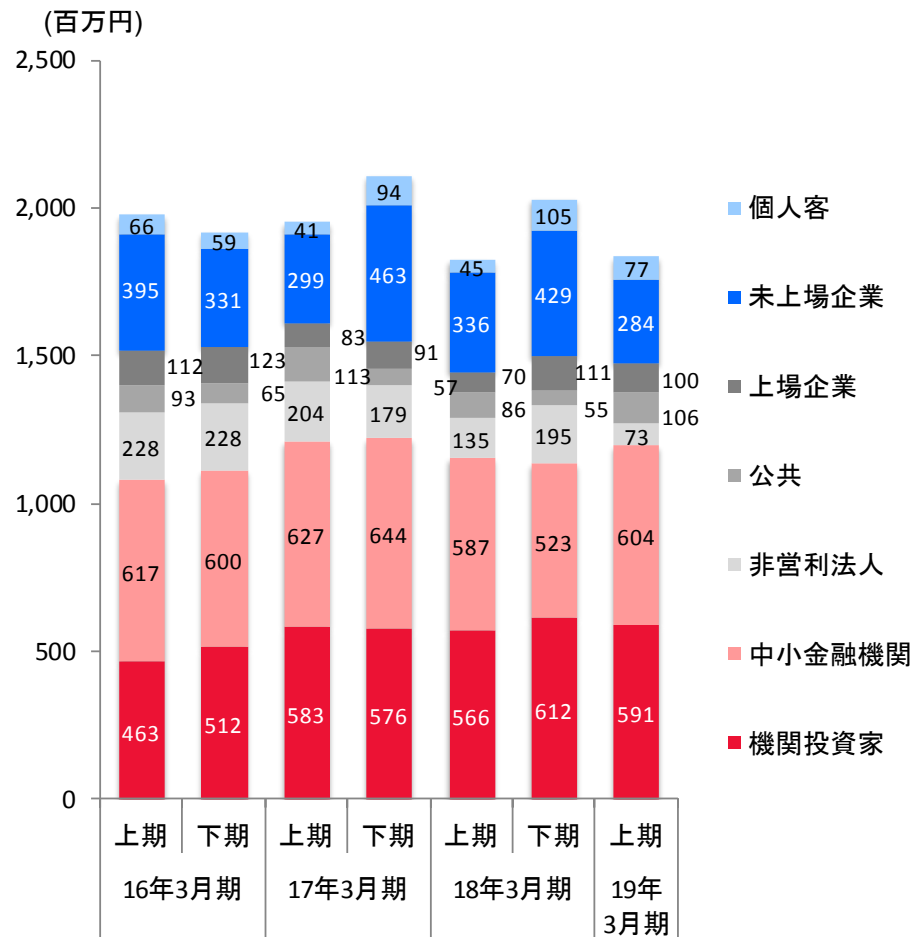
I. 業績概要

(東海東京証券)法人部門・投資銀行部門 業績推移

法人営業 商品別収益推移

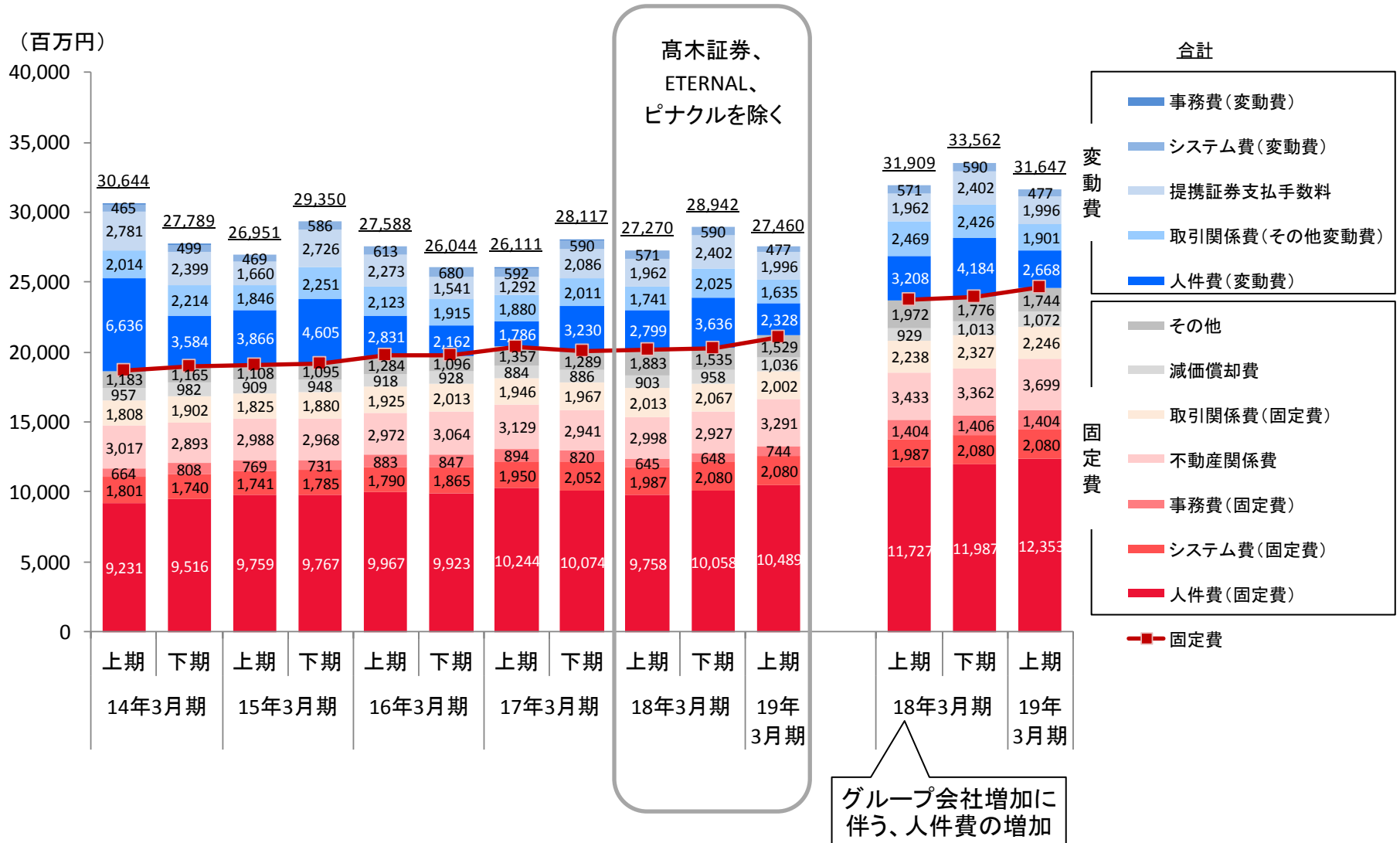


法人営業 顧客別収益推移



I. 業績概要

(連結)販売費および一般管理費の推移

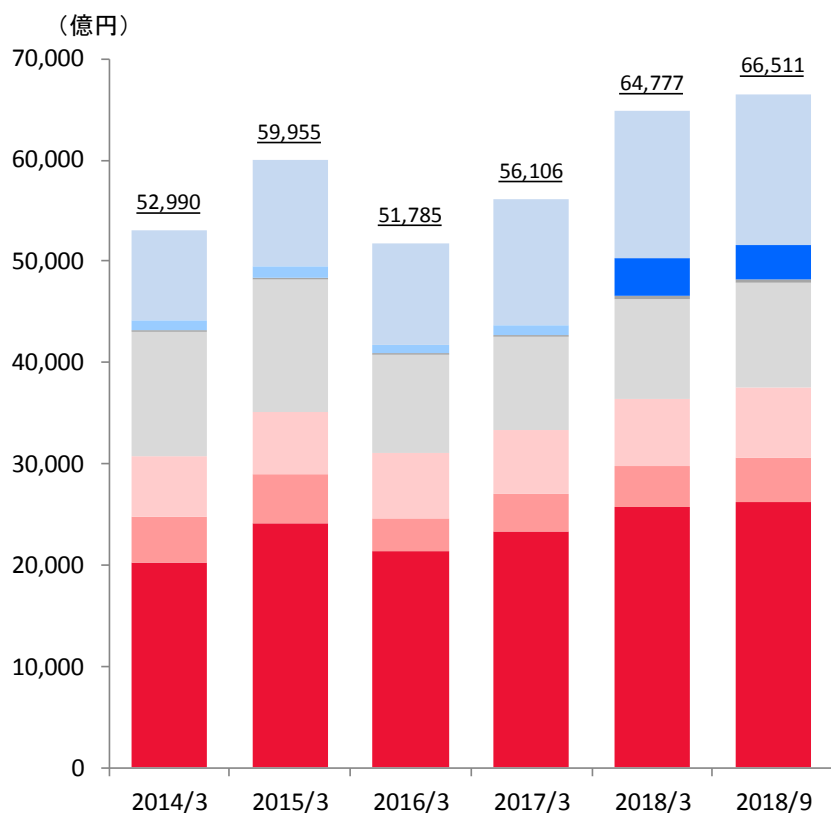


※ JVへの支店譲渡時のデータ移行費(事務費)控除 17年2Q・17年4Q

I. 業績概要

グループの預かり資産推移

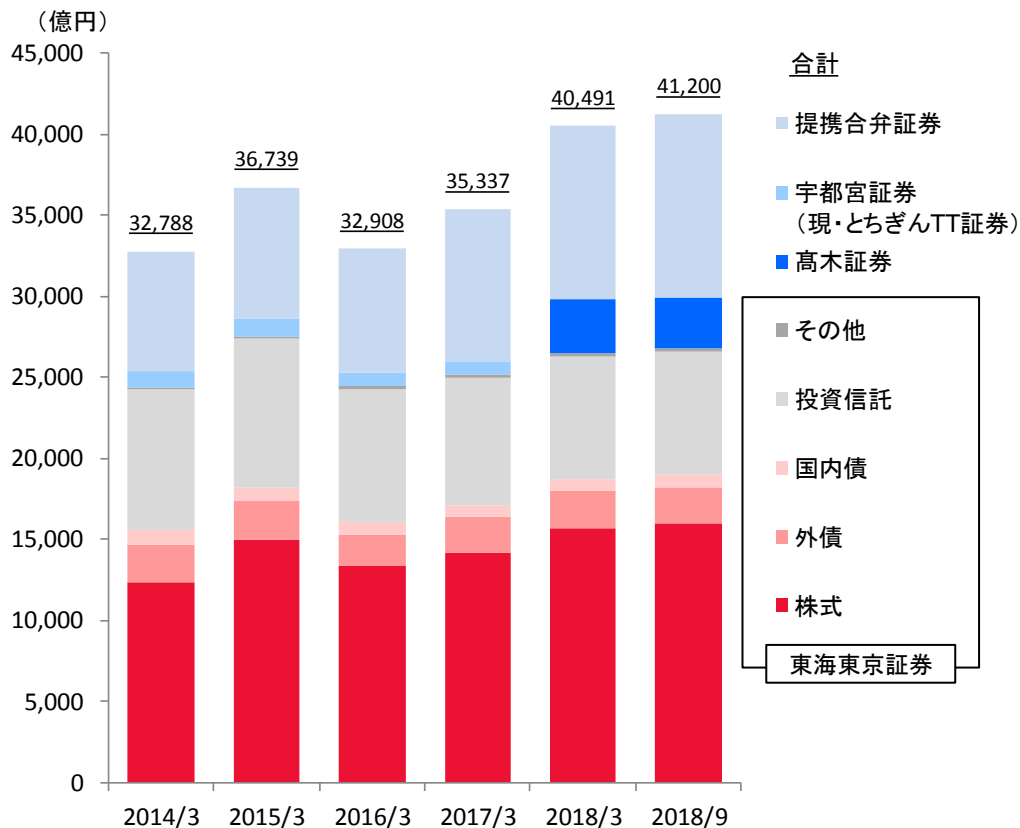
預かり資産推移(全体)



東海東京証券 合計 (億円)

2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2018/9
43,202	48,440	40,942	42,763	46,591	48,160

預かり資産推移(個人顧客)



東海東京証券 合計 (億円)

2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2018/9
24,410	27,525	24,414	25,123	26,526	26,760

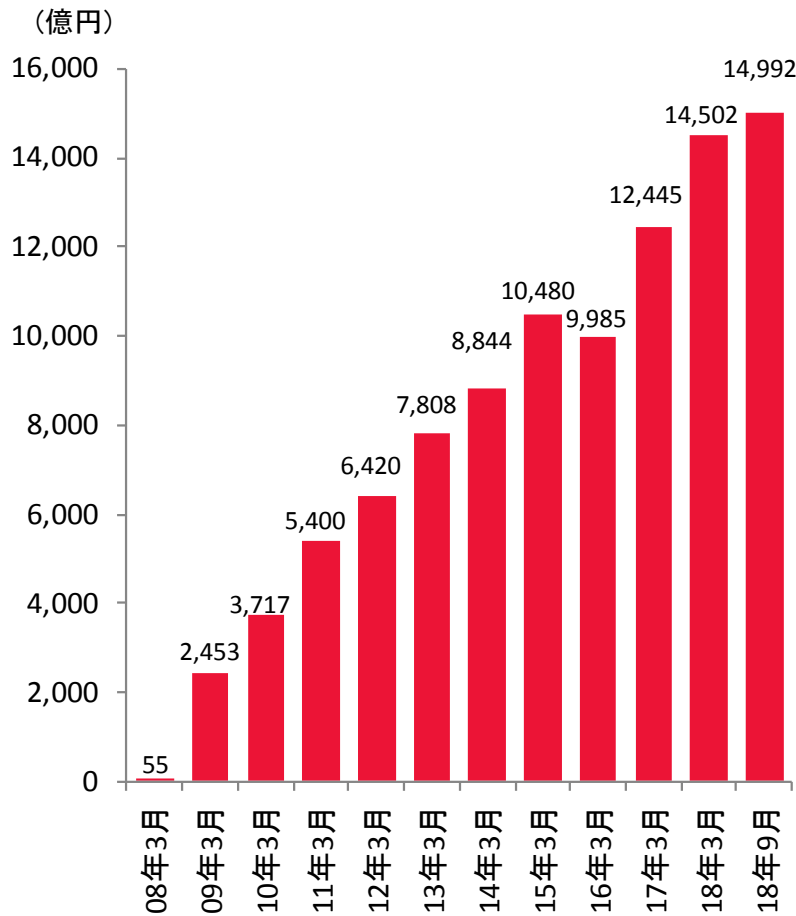
- 合計
- 提携合併証券
- 宇都宮証券 (現・とちぎんTT証券)
- 高木証券
- その他
- 投資信託
- 国内債
- 外債
- 株式
- 東海東京証券

II. プラットフォーム事業の進捗

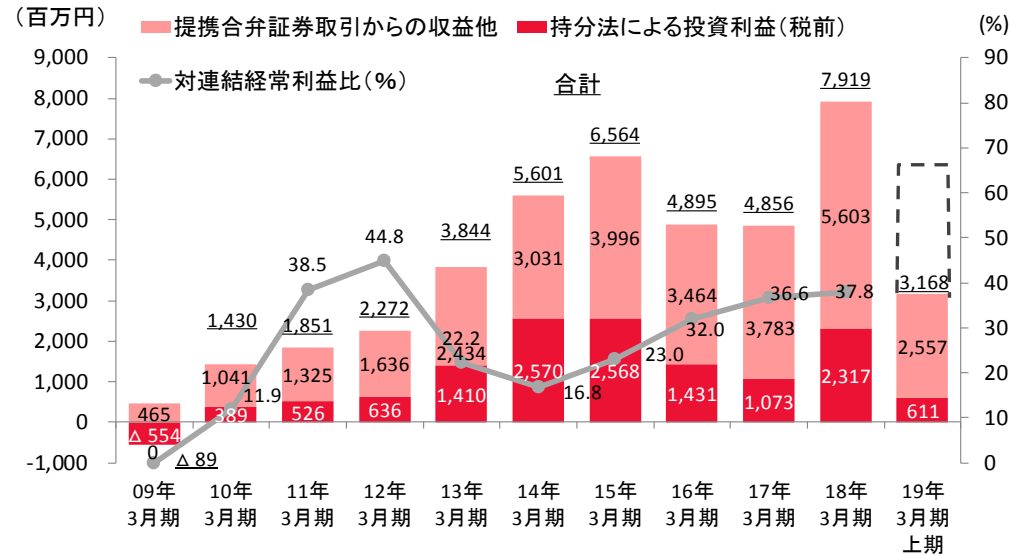
II. プラットフォーム事業の進捗

地方銀行との提携合弁証券(JV)

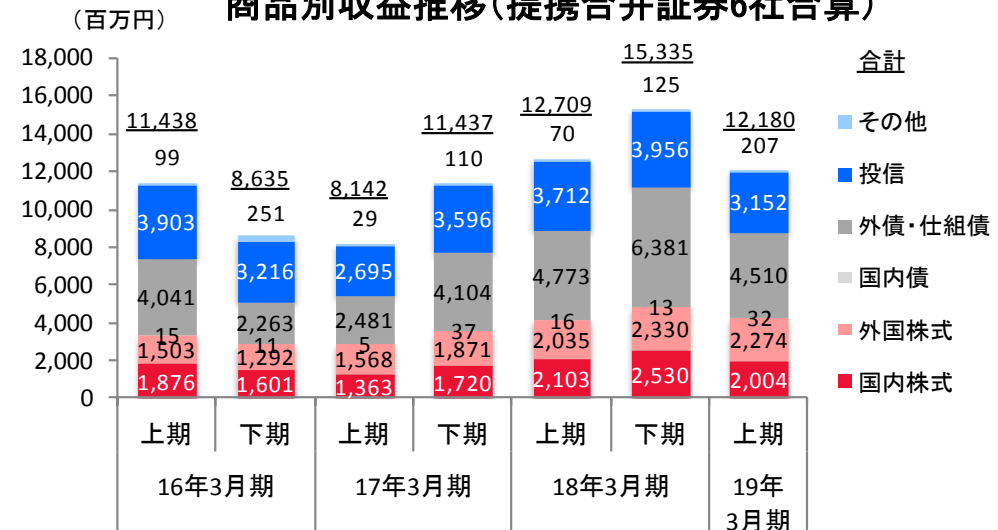
預かり資産推移 (提携合弁証券6社合算)



連結利益への貢献



商品別収益推移(提携合弁証券6社合算)



II. プラットフォーム事業の進捗

地方銀行との提携合併証券(JV)

全国地方銀行預金量 上位20行(2018年3月末)

	提携先	預金量(兆円)	証券会社名	営業開始
1	コンコルディアFG	15.4	浜銀TT証券	2008年11月
2	★めぶきFG	13.9		
3	★ふくおかFG	13.7		
4	★千葉銀行	12.0		
5	ほくほくFG	11.0	ほくほくTT証券	2017年1月
6	★静岡銀行	9.5		
7	山口FG	8.7	ワイエム証券	2007年10月
8	★九州FG	8.3		
9	西日本FH	7.8	西日本シティTT証券	2010年5月
10	★七十七銀行	7.4		
11	★広島銀行	7.1		
12	★京都銀行	6.8		
13	★群馬銀行	6.6		
14	★八十二銀行	6.5		
15	★中国銀行	6.4		
16	十六銀行	5.4		2019年度中(予定)
17	★東邦銀行	5.2		
18	★伊予銀行	5.0		
19	大垣共立銀行	4.9		
20	池田泉州HD	4.9	池田泉州TT証券	2013年9月
-	栃木銀行	2.6	とちぎんTT証券 (旧・宇都宮証券)	2017年4月合併化

預金量計
55.8兆円

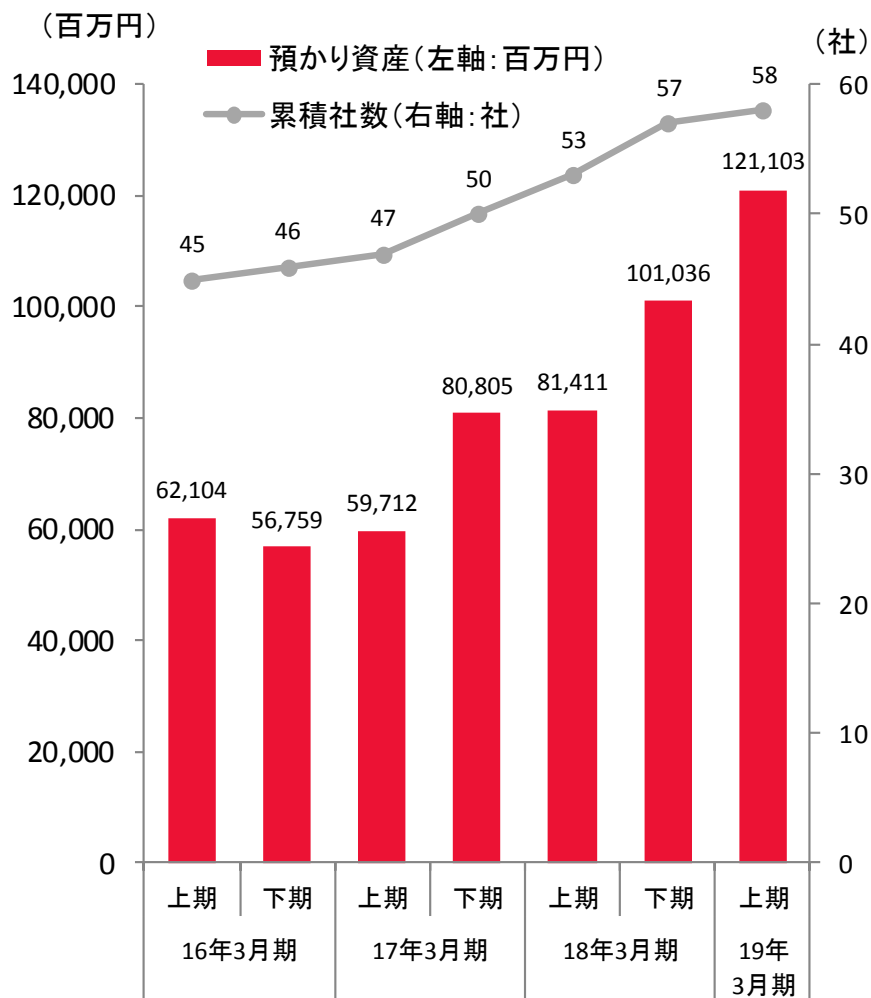
★:証券子会社あり

※東海東京フィナンシャル・ホールディングスの提携先

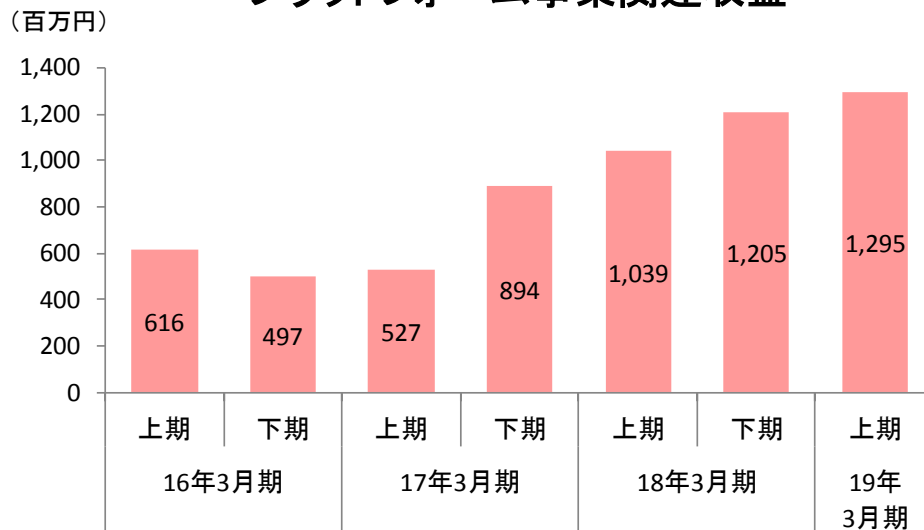
II. プラットフォーム事業の進捗

プラットフォーム事業

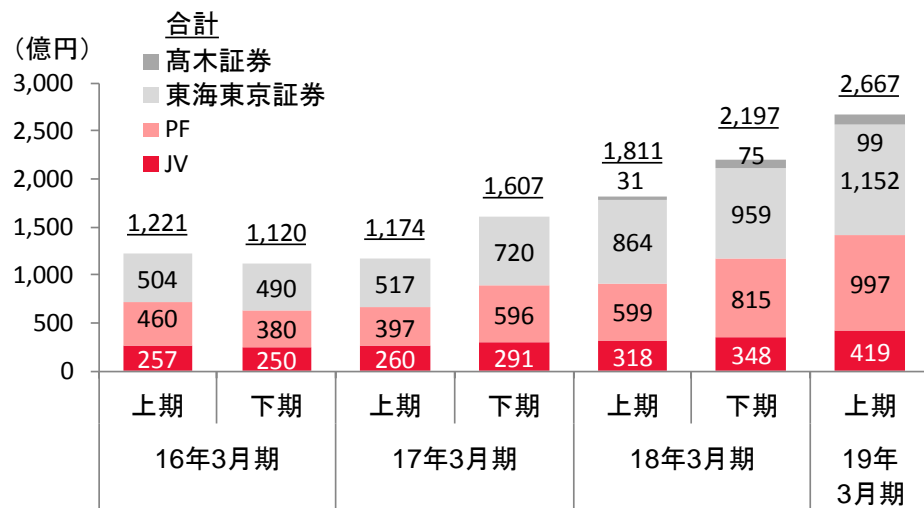
プラットフォーム提携社数と 保護預かり資産



プラットフォーム事業関連収益



外国株式 預かり資産



III. 資本政策

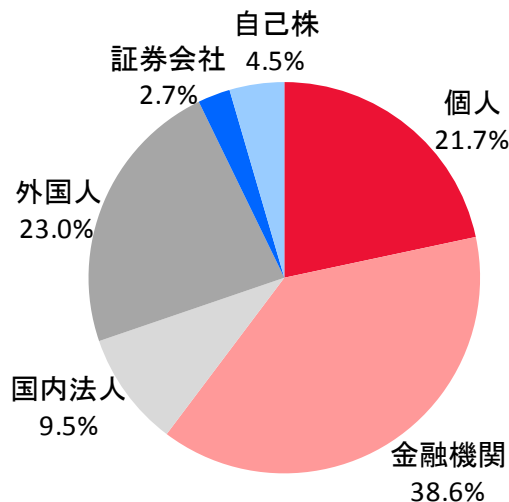
III. 資本政策

株主メモ

■ 株式指標

	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期 上期
自己資本(百万円)	140,462	154,633	153,089	155,312	172,629	168,743
自己株式保有額	3,835	3,639	6,390	7,572	6,188	6,187
1株あたり年間配当金(円)	32.00	34.00	28.00	26.00	38.00	12.00
配当性向(%)	36.5 %	48.9 %	59.7 %	56.9 %	39.1 %	101.3 %
DOE (%)	6.5 %	6.1 %	4.8 %	4.4 %	6.0 %	3.6 %

■ 株式分布および大株主について



大株主	持株数 (千株)	持株比率 (%)
- シュローダー・インベストメント(*)	20,129	7.44
1 株式会社三菱UFJ銀行	12,016	4.44
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,451	3.86
3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,234	3.78
4 三井住友海上火災保険株式会社	7,283	2.69
5 トヨタファイナンシャルサービス株式会社	7,280	2.69
6 株式会社横浜銀行	7,014	2.59
7 日本生命保険相互会社	5,611	2.07
8 三井住友信託銀行株式会社	4,800	1.77
9 ジェーピー・モルガン・チェース・バンク385166	4,470	1.65
10 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,421	1.63

(2018年9月30日現在)

※ 上記の1位～10位の大株主情報は、2018年9月末基準日の株主名簿をもとに記載しておりますが、2018年9月20日付シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社による(大量保有)変更報告書にもとづき、同社グループが当社株式を20,129千株(2018年9月末時点7.44%)保有していることを認識しております。

III. 資本政策

株主還元と内部留保について

株主還元

- 配当
 - 自己株式取得
 - 株主優待
-

成長のための内部留保

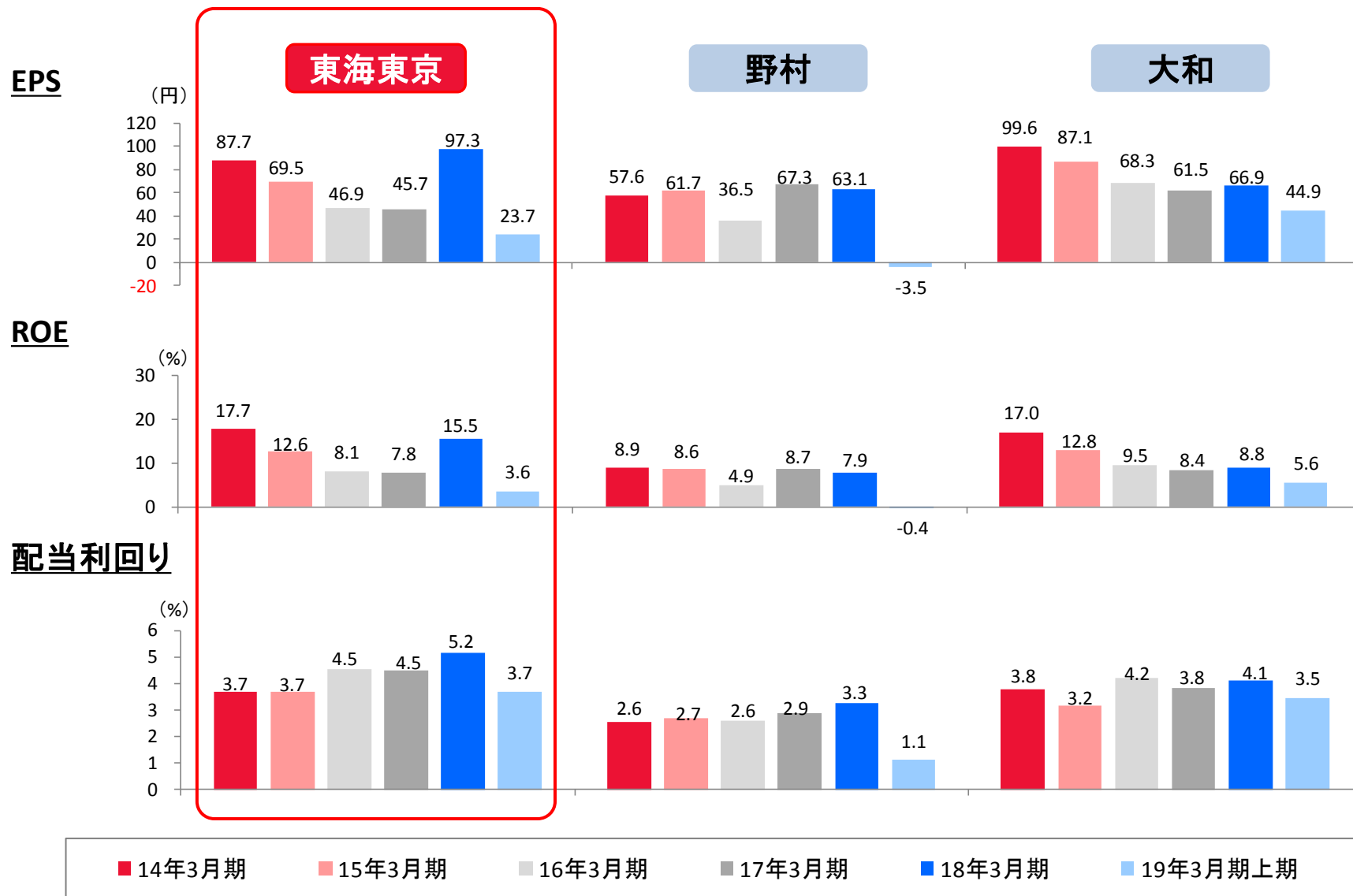
M&A/出資
(銀行、証券、FinTech)

ビジネスの拡大
(マーケット部門、富裕層、IFA)

IT/AIへの投資

III. 資本政策

株式指標の他社比較



■ 14年3月期 ■ 15年3月期 ■ 16年3月期 ■ 17年3月期 ■ 18年3月期 ■ 19年3月期上期

※ EPSとROEは年率換算

IV. 経営計画

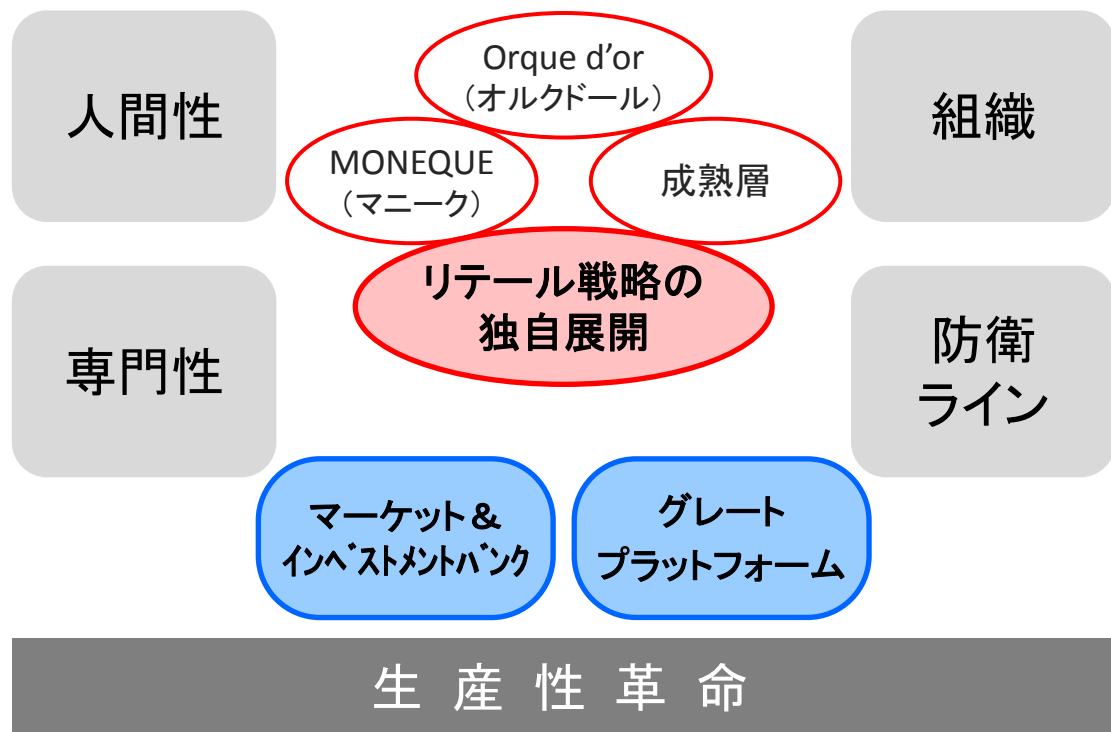
「New Age's, Flag Bearer 5 ～新時代の旗手～」 の推進

IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

全体像

「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

更なる経営基盤の強化と成長



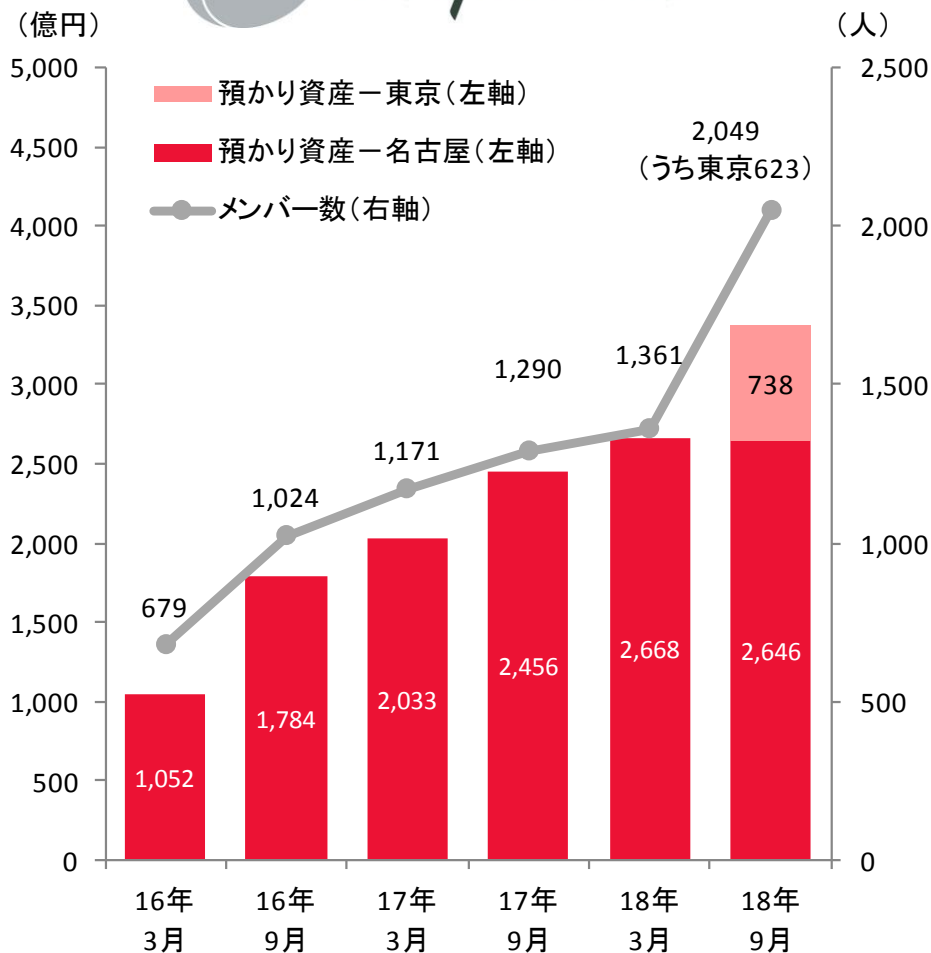
戦略テーマの追求



IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

富裕層ビジネス

「オルクドール」 メンバー数・預かり資産



オルクドール・サロン 《名古屋》



エントランス、ラウンジ、
ダイニング、応接室、
セミナールーム、
多目的ホール、
はなれ(和室) など

《東京》

2018年4月より東京でもメンバー向けサービス展開開始
サロンは2019年春、日本橋高島屋三井ビルディングに
オープン予定

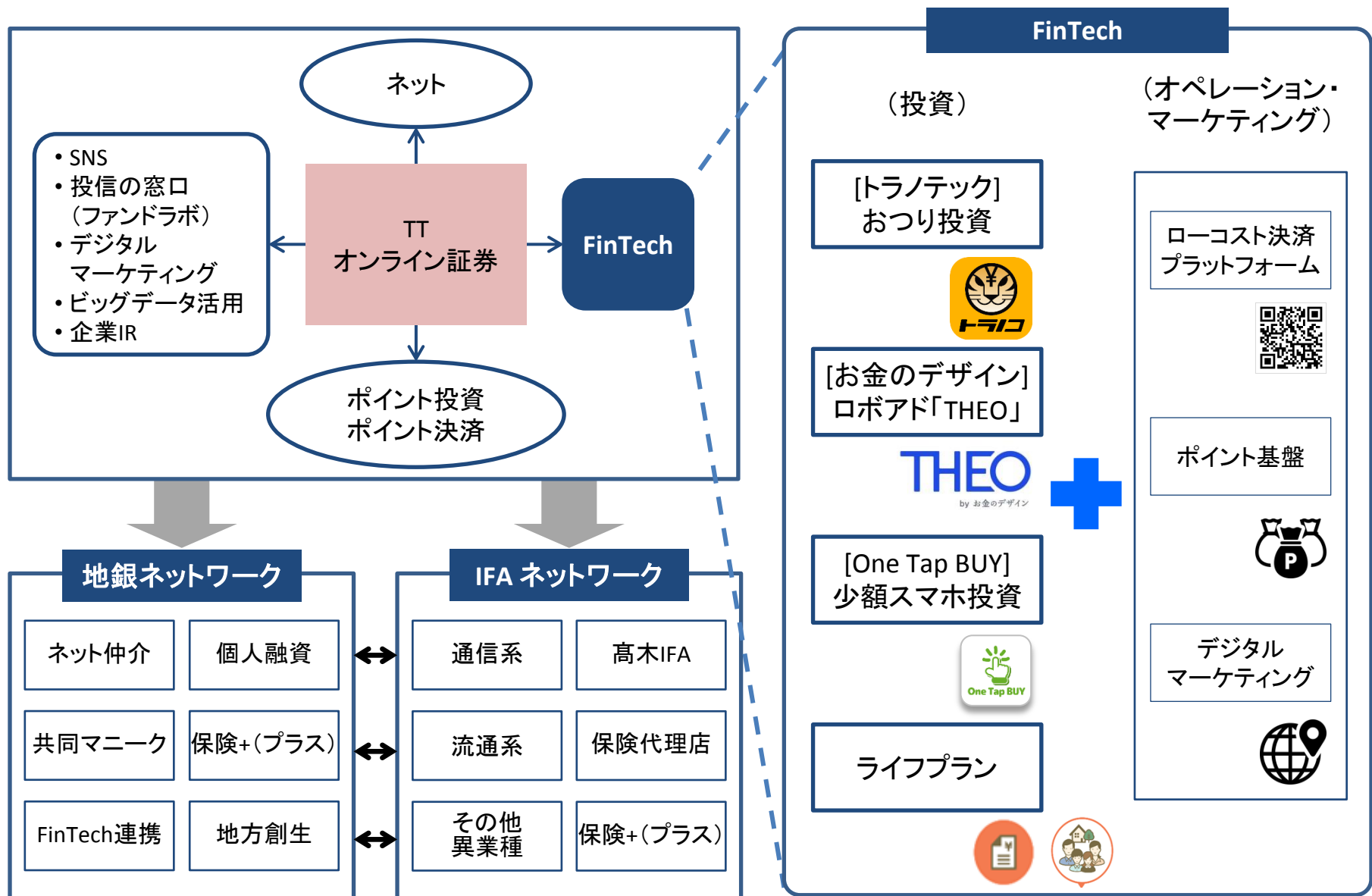
エントランス、ラウンジ、レストラン、応接室、セミナールーム、
多目的ホール、屋上庭園 など



(イメージ図)

IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

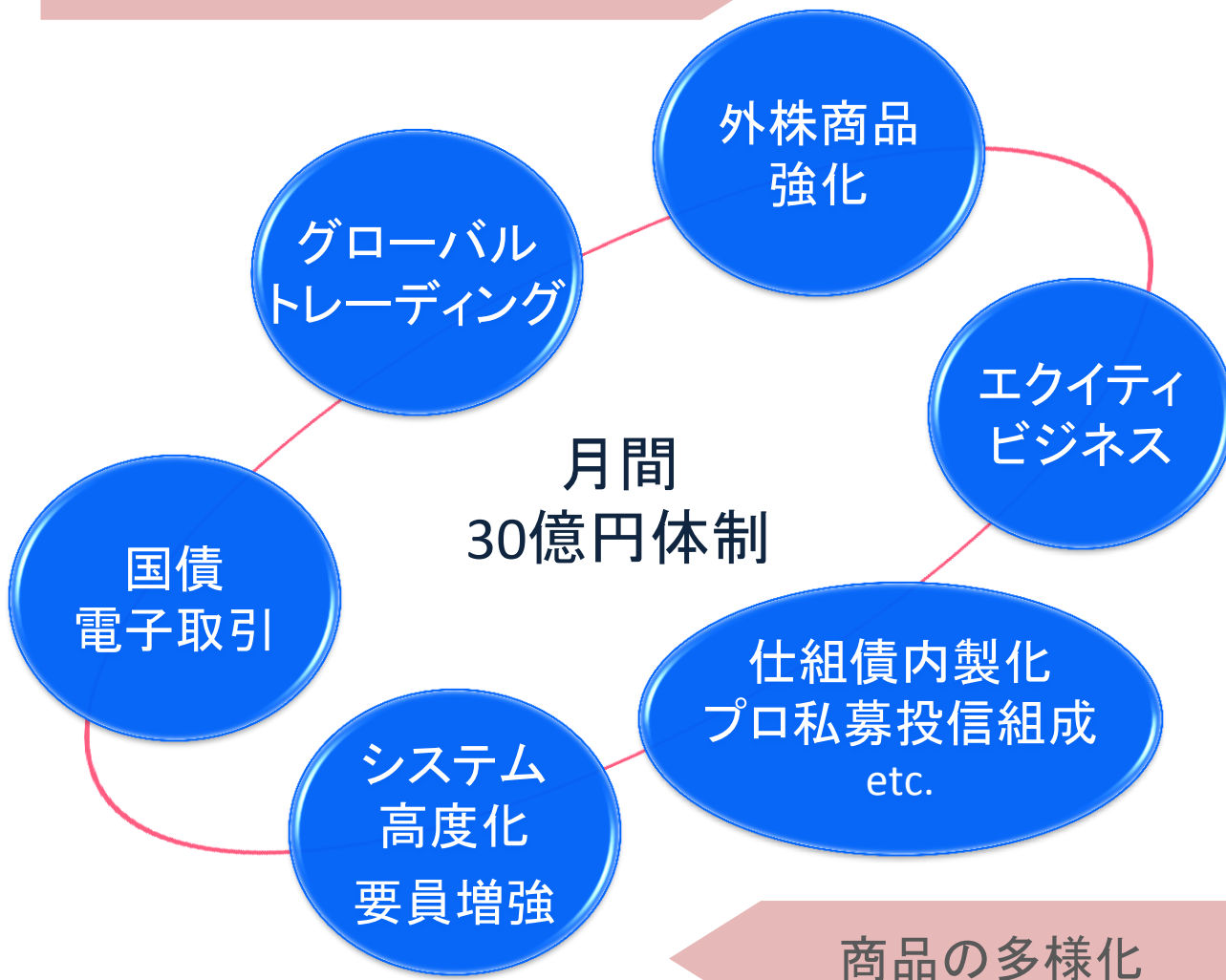
次世代ビジネス戦略



IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

マーケット部門の進捗と今後施策

ビジネスインフラの増強



商品の多様化

【2Qまでの主な進捗】

仕組債内製化:
10%

エクイティビジネス:
MSワラント準備完了

要員増強:
専門職13名採用

ポジション・サイズ:
拡大

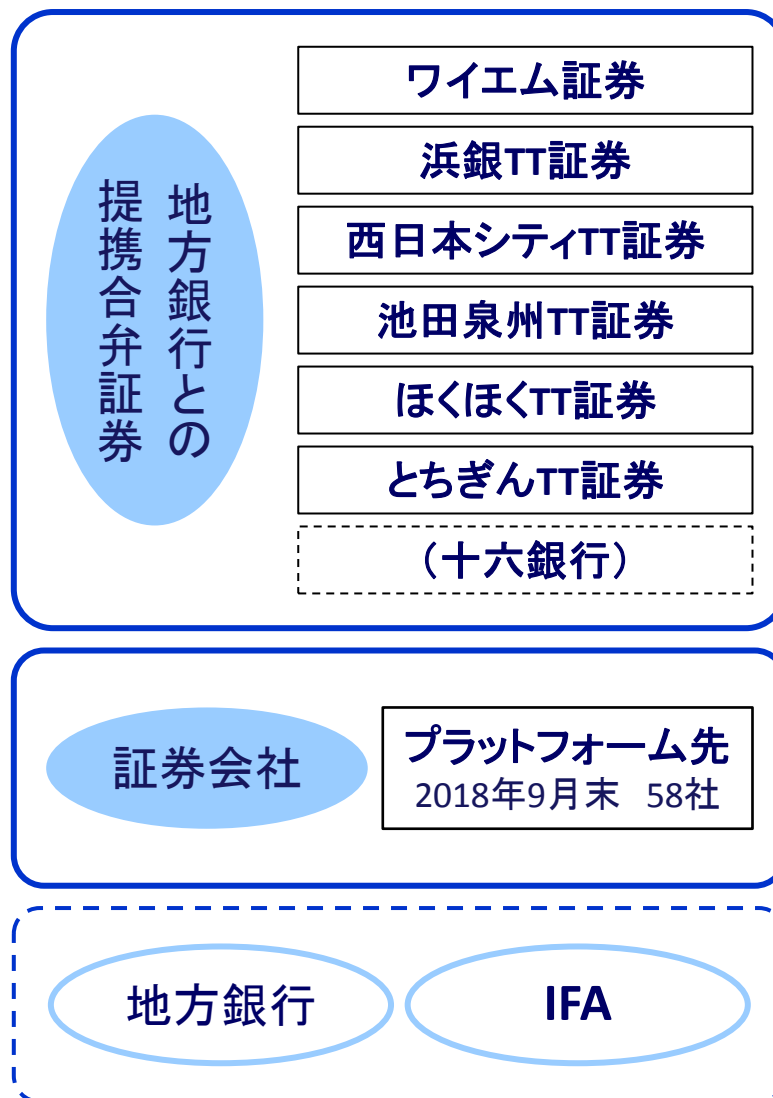
国債電子取引:
フロント・システム導入

インフラ改善:
財務会計整備

IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

グレート・プラットフォーム・スキームの拡充

《グレート・プラットフォーム》



《新規提供機能》



IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

グレート・プラットフォームの拡充サービス内容

資産運用

プロ私募ファンド
お金のデザイン
ファンドラップ
ANAMの活用

THEO
by お金のデザイン



資金調達

MTNプログラム活用

次世代マーケット

通信キャリアとの共同
プロジェクト
オンライン証券機能

提携地方銀行
提携合弁証券

事業承継

新しいエンティティ



保険ショップ



富裕層ビジネス

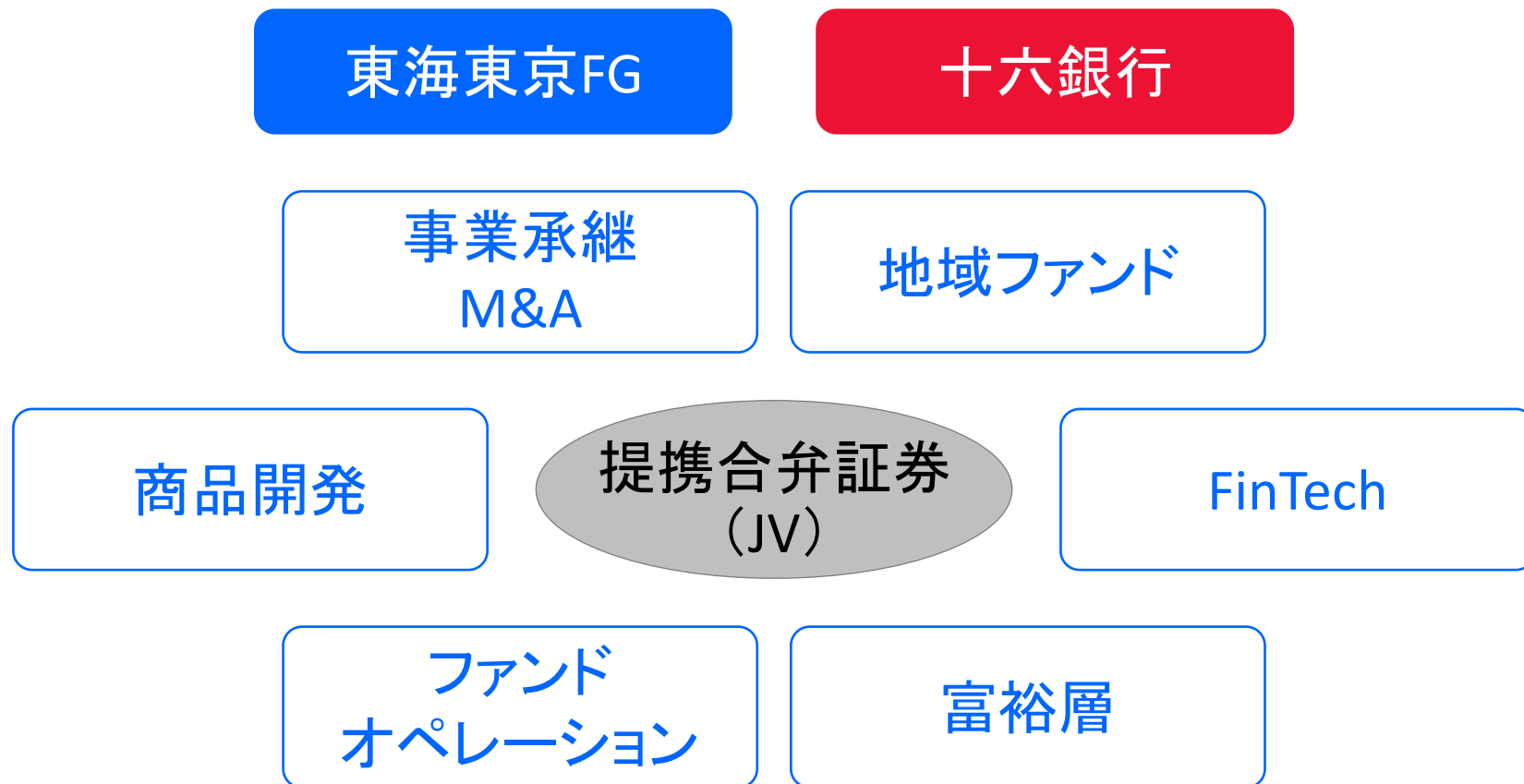
オルクドール・サロン
東京



IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

十六銀行との包括的業務提携

地方銀行との相乗的協業を拡大し、地方銀行と証券会社とのシナジー最大化



IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

生産性革命と人事革命



IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

ESGの取組み

■中部地域の社会貢献活動

- ・経済、金融知識をメインテーマとした大学への寄附講座提供
- ・学生アスリートの育成支援・助成、社会人アスリートの活動支援
- ・オープンイノベーション風土の醸成に向けたセミナー・勉強会の開催
- ・学生の留学や海外活動支援を通じたグローバル人材の育成(東海東京財団)
- ・ビジネスアイデアコンテスト等を通じた、学生の起業支援(東海東京財団)

■ガバナンス

監査等委員会設置会社の特性を活かしたガバナンス構築

⇒取締役会によるモニタリング機能の強化:

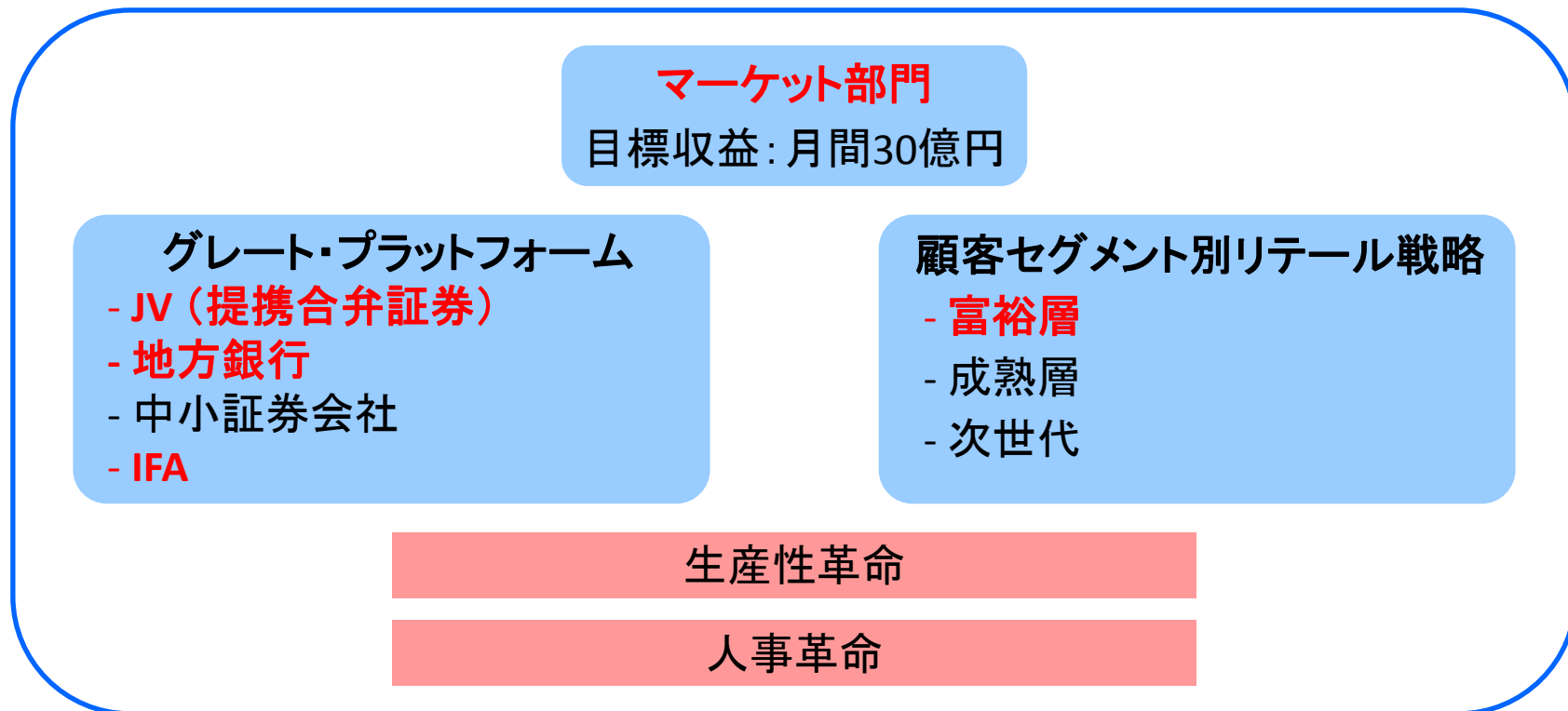
- ①取締役9名中、社外取締役5名、うち1名が議長を務める取締役会構成
- ②業務執行機能と監督機能の明確化
- ③権限委譲による意思決定迅速化
- ④指名・報酬委員会の設置

■人事施策

- ・社員総活躍推進室を中心としたダイバーシティへの取組み強化
- ・人事制度改革の推進(職務型評価導入による専門性と人間性の追求など)

IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進

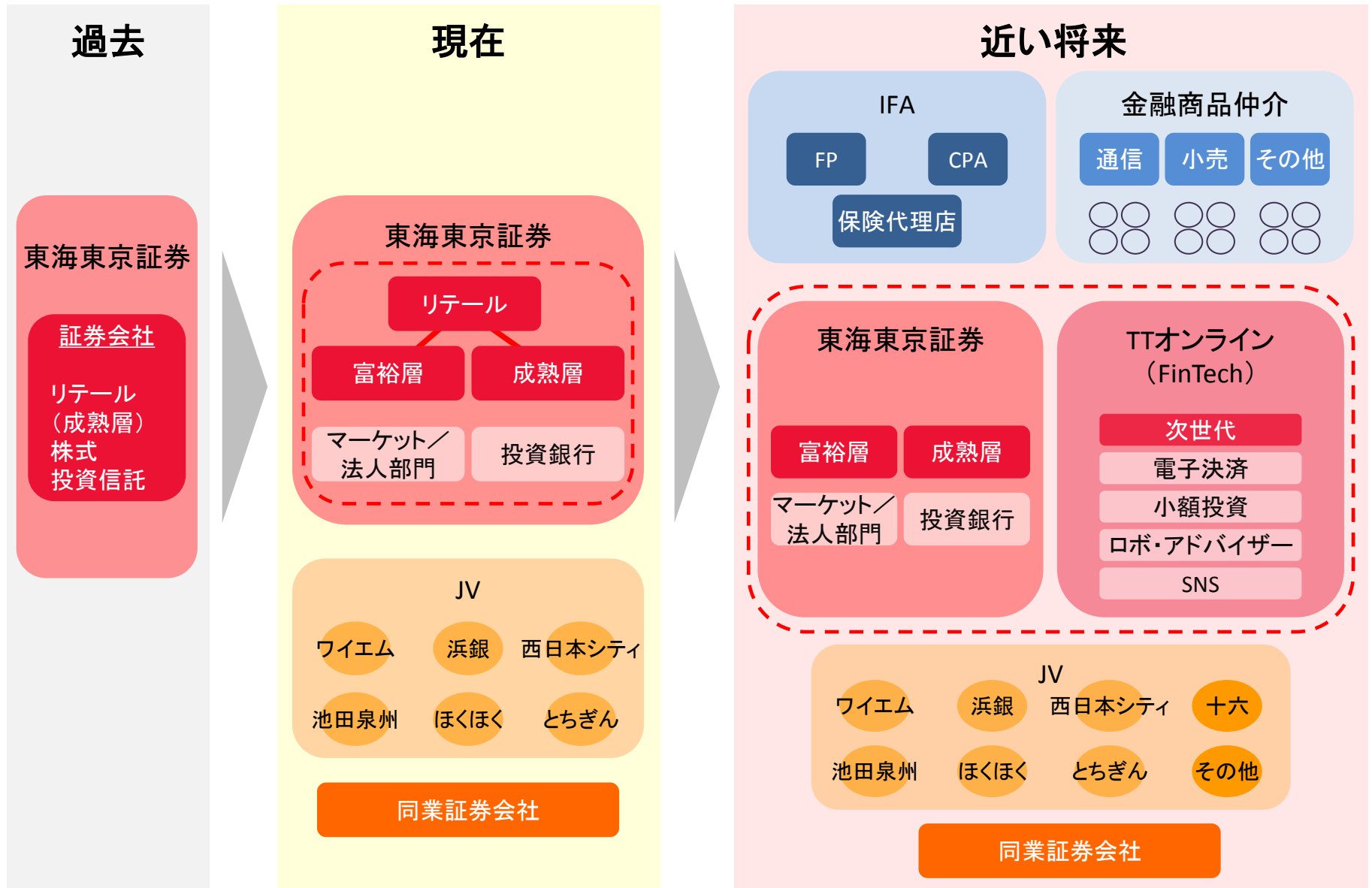
経営計画達成のための主要因



経常利益300億円体制をめざして

マーケット部門	リテール	その他 (投資銀行、グループ会社等)
150～200億円	50～75億円	50～100億円

IV. 経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」の推進 新ビジネスモデル



MEMO

MEMO

問合せ先

- 東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 広報・IR部
- TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314
- E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

◇ 本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。